

経営体育成基盤整備事業

しんじょうみなみ

真城南地区

土地改良事業計画書（第2回変更）

（区画整理）

県名	岩手
地区名	真城南
所在地	奥州市水沢、前沢
事業主体	岩手県

土 地 改 良 事 業 計 画 書

変更前後

目 次

第1章	目 的	1	第2節	営農計画及び土地利用計画	30
第2章	地域及び地積	2	1.	営農計画の概要	30
	第1節 地域	2	2.	土地利用区分	30
	第2節 地積	2	3.	作付方式	31
第3章	現況	3	4.	生産計画	32
	第1節 気象及び海象	3	5.	労働改善計画	33
	1. 一般気象	3	6.	級地別土地利用区分	34
	2. 特殊気象	4	7.	土地配分計画	34
	3. 海象	4	第3節	用水計画	35
	第2節 土地状況	5	1.	計画基準年	35
	1. 地形、土壌及び浸食の程度	5	2.	計画かんがい方式	35
	2. 土地分類	7	3.	計画用水系統図	35
	3. 土地利用の状況	8	4.	計画用水量	37
	4. 土地所有の状況	9	5.	水源計画	39
	第3節 水利状況	10	第4節	排水計画	42
	1. 用水状況	10	1.	計画基準雨量	42
	2. 排水状況	16	2.	計画排水方式	42
	3. 河川状況	20	3.	計画排水系統図	42
	第4節 道路概況	21	4.	計画排水量	44
	1. 道路概況	21	5.	排水対策	45
	2. 主要道路一覧表	22	6.	湛水検討	46
	第5節 地域農業の概況	24	第5節	道路計画	47
	1. 産業別就業人口	24	1.	道路及び索道	47
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	25	2.	路線配置図	47
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	26	第6節	農用地造成計画	49
	4. 主要作物作付状況	27	1.	農用地造成計画	49
	5. 農業の動向	28	2.	土壌改良	49
	第6節 地域環境の概況	28	第7節	洪水調節計画	50
第4章	一般計画	29	1.	計画基準雨量	50
	第1節 事業計画の要旨	29	2.	計画洪水量及び調節量	50
	1. 要旨	29	3.	貯水池	50
	2. 事業別面積	29	4.	洪水調節検討	51
			5.	管理計画	51

	第8節	干拓計画	51
	第9節	農用地整備計画	52
		1. 区画整理	52
		2. 暗渠排水	54
		3. 客土	55
		4. 農地保全	55
	第10節	老朽ため池改修計画	56
		1. 洪水吐改修計画	56
		2. 堤体補強計画	56
		3. 取水施設改修計画	56
第5章	主要工事計画		57
	第1節	用水施設	57
		1. 貯水池	57
		2. 頭首工	58
		3. 揚水機	58
		4. 用水路	59
		5. その他かんがい施設	59
	第2節	排水施設	60
		1. 排水水門	60
		2. 排水機	60
		3. 排水路	61
		4. その他排水施設	61
	第3節	道路及び索道	62
		1. 道路	62
		2. 索道	62
	第4節	農用地造成	63
		1. 農用地造成	63
		2. 土壌改良	64
	第5節	洪水調節施設	65
		1. 貯水池	65
		2. 頭首工及び導水路	65
	第6節	干拓施設	65
		1. 堤防	65
		2. 潮止め	65
		3. 付属施設	65
		4. 埋立	65

	第7節	農用地整備施設	66
		1. 区画整理	66
		2. 暗渠排水	67
		3. 客土	67
		4. 除礫	67
		5. 農地保全	68
	第8節	老朽ため池改修施設	69
		1. 貯水池	69
		2. 堤体補強施設	69
第6章	付帯工事計画		70
第7章	工事の着手及び完了の予定時期		70
第8章	環境との調和への配慮		70
第9章	換地計画の概要		71
	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	71
	第2節	換地区の設定	71
		1. 換地区の名称、所在、面積	71
		2. 換地区を設定する理由	71
	第3節	換地計画樹立の基本方針	72
		1. 従前の土地の地積の基準	72
		2. 用途別予定地積	73
		3. 農用地集団化の方針	74
		4. 非農用地の換地方法	74
	第4節	土地の評価及び清算の方法	75
		1. 評価の方法	75
		2. 清算の方法	75
	第5節	換地計画樹立の年度計画	75
	第6節	換地処分の特則に関する特則	75
第10章	事業費の総額及び内訳		76
第11章	効用		76
第12章	関連する事業		77
第13章	現況・計画図面		78
		1. 位置図	78
		2. 現況計画平面図	78
		3. 土地利用計画図	78
		4. 主要構造図	78

第1章 目 的

上段：変更後

下段：変更前

本地区は、奥州市水沢の南部及び前沢の北部に位置し、胆沢扇状地の東部に拓けた岩手県を代表する穀倉地帯である。

本地区の水田整備状況は、昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業胆沢平野地区により整備されてはいるが、区画は10aと小区画であり農道も1.5m～2.0mと狭少なため、農業用機械の作業効率の低下をきたしている。また、水路は用排兼用の土水路が多く、断面が狭小で深さも浅く十分な排水機能を果たしていないため、水田の汎用化が行えない状況にある。これらのことから、効率的な農業生産を行うことが困難であり、担い手の育成及び農地集積の妨げになっている。

以上の問題を解決するため、本計画により高生産性ほ場を造成し、大型農業用機械による営農の効率化を図るとともに、担い手への農地集積を促進し、農業経営の安定を図るものである。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
〃 区 画 整 理	〃 岩手県 奥州市水沢真城、前沢古城地内

上段：変更後

下段：変更前

第2節 地 積

(令和6年3月現在)

(令和4年2月現在) (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
〃 区 画 整 理	〃 奥 州 市	〃 62.2	〃 0.5	- -	- -	〃 5.4	〃 68.1	
	計	〃 62.2	〃 0.5	- -	- -	〃 5.4	〃 68.1	
	計							
合 計		〃 62.2	〃 0.5	- -	- -	〃 5.4	〃 68.1	

第3章 現 況

上段：変更後
下段：変更前

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版) (第3表－1)

観測所名	若柳気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H20～H29年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		20.2	6.2	10.9	
降水量	平均(mm)	527.8	770.4	1,298.1	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	43	94	137	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間	—月—日～—月—日—日間				
無霜期間	4月30日～10月28日182日間				
最多風向	S	最大風速 (風 向)	19.8 (W)	最多風向発生時期	月～ 月
				最大風速発生年月日	2018年3月2日

※ 最大風速のデータは気象庁のホームページによる。

上段：変更後
下段：変更前

2. 特殊気象

〃

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版) (第3表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
〃 若柳気象観測所																
観 測 期 間	数	年	発 生	数	年	発 生	数	年	発 生	数	年	発 生	数	年	発 生	
〃 〃 M41年～H29年	量	月 日	確 率	量	月 日	確 率	量	月 日	確 率	量	月 日	確 率	量	月 日	確 率	
最大日雨量(mm) 〃 〃 M41年～H29年	280	S23. 9. 16	1/387	249	T9. 8. 9	1/187	221	T2. 8. 27	1/93	212	M43. 8. 14	1/74	210	T11. 8. 24	1/70	
最大時間雨量(mm) 〃 〃 S51年～H29年	40	S53. 8. 8	1/34	38	H19. 9. 10	1/24	35	H19. 5. 31	1/14	35	S57. 9. 12	1/14	34	H13. 7. 4	1/12	
最大4時間雨量(mm) 〃 〃 S51年～H29年	84	S56. 8. 12	1/52	80	H14. 7. 11	1/33	79	H14. 7. 11	1/30	77	H17. 6. 27	1/24	75	H17. 6. 27	1/19	
最大3日連続雨量(mm) 〃 〃 M41年～H29年	389	T9. 5. 9	1/503	362	T9. 8. 10	1/304	334	T9. 5. 8	1/177	312	T9. 8. 9	1/114	305	M43. 8. 15	1/99	
最大連続旱天日数(日) 〃 〃 M41年～H29年	52	S21. 7. 11	—	47	H6. 7. 3	—	35	S53. 7. 4	1/230	35	S18. 6. 19	1/230	33	S24. 7. 16	1/101	

3. 海 象

〃
該当なし

(第3表－3)

観測所名		既往最高 潮位 (m)	さく望平均 満潮位 (m)	上下弦平均 満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均 干潮位 (m)	さく望平均 満潮位 (m)	既往最低 潮位 (m)	備 考
観測期間	年～年								
実 測 値		()							

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

上段：変更後

下段：変更前

(第4表－1－1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
区画整理	面積(ha)	〃 -	〃 62.2	〃 -	〃 -	〃 -	〃 62.2	〃 0.5	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 0.5	〃 40	〃 38	
	比率(%)	〃 -	〃 100.0	〃 -	〃 -	〃 -	〃 100.0	〃 100.0	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 100.0			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	〃 -	〃 62.2	〃 -	〃 -	〃 -	〃 62.2	〃 0.5	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 0.5			
	比率(%)	〃 -	〃 100.0	〃 -	〃 -	〃 -	〃 100.0	〃 100.0	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 100.0			

上段：変更後
下段：変更前
(第4表－1－2)

[水田土壌]

項 目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備 考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層			区 画 整 理	計		
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
衣坂統 グライ土壌 強粘土構造型 (E40)	10YR3/2 5GY2/1	表層腐植 層なし	なし	なし	HC	HC	LiC	なし なし あり	水積	非固結堆積岩	62.7	62.7	衣坂統 E40	
計											62.7	62.7		

該当なし

(第4表－1－3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 食 の 程 度		備 考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

上段：変更後
下段：変更前

2. 土地分類

//
該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	30° 以上 (ha)		
計												

//
該当なし

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

上段：変更後
下段：変更前

3. 土地利用の状況

(令和 6年 3月現在)
(令和 4年 2月現在) (第4表－3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地	原 野	そ の 他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	奥州市	// 62.2	// 0.5	// -	// -	// -	// -	// -	// -	// -	// -	// 5.4	// 68.1	
合 計		// 62.2	// 0.5	// -	// -	// -	// -	// -	// -	// -	// -	// 5.4	// 68.1	

4. 土地所有の状況

上段：変更後

下段：変更前

(令和6年3月現在)

(令和4年2月現在)

(第4表－4)

事業名	所有別 区 分	個人有	市有	改良区	その他			計	備 考
区画整理	面 積(ha)	〃 62.7	〃 2.8	〃 2.6				〃 68.1	
	受益者数(人)	31 24						31 24	
	筆 数(筆)	908 909						908 909	
	権 利 関 係								
	備 考 (関係戸数)	(113) (115)						(113) (115)	
	面 積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆 数(筆)								
	権 利 関 係								
	備 考 (関係戸数)								
合 計	面 積(ha)	〃 62.7	〃 2.8	〃 2.6				〃 68.1	
	受益者数(人)	31 24						31 24	
	筆 数(筆)	908 909						908 909	
	権 利 関 係								
	備 考 (関係戸数)	(113) (115)						(113) (115)	

第3節 水利状況

上段：変更後
下段：変更前

1. 用水状況

本地区の幹線水路は、胆沢ダムを水源とする一級河川胆沢川より若柳頭首工にて取水し、円筒分水工の下流にある国営胆沢平野農業水利事業及び県営農業用水再編対策事業胆沢平野地区で整備された寿安下堰水路系統の高縁堰及び堤ヶ沢水路、寿安中堰系統の寿安中堰である。

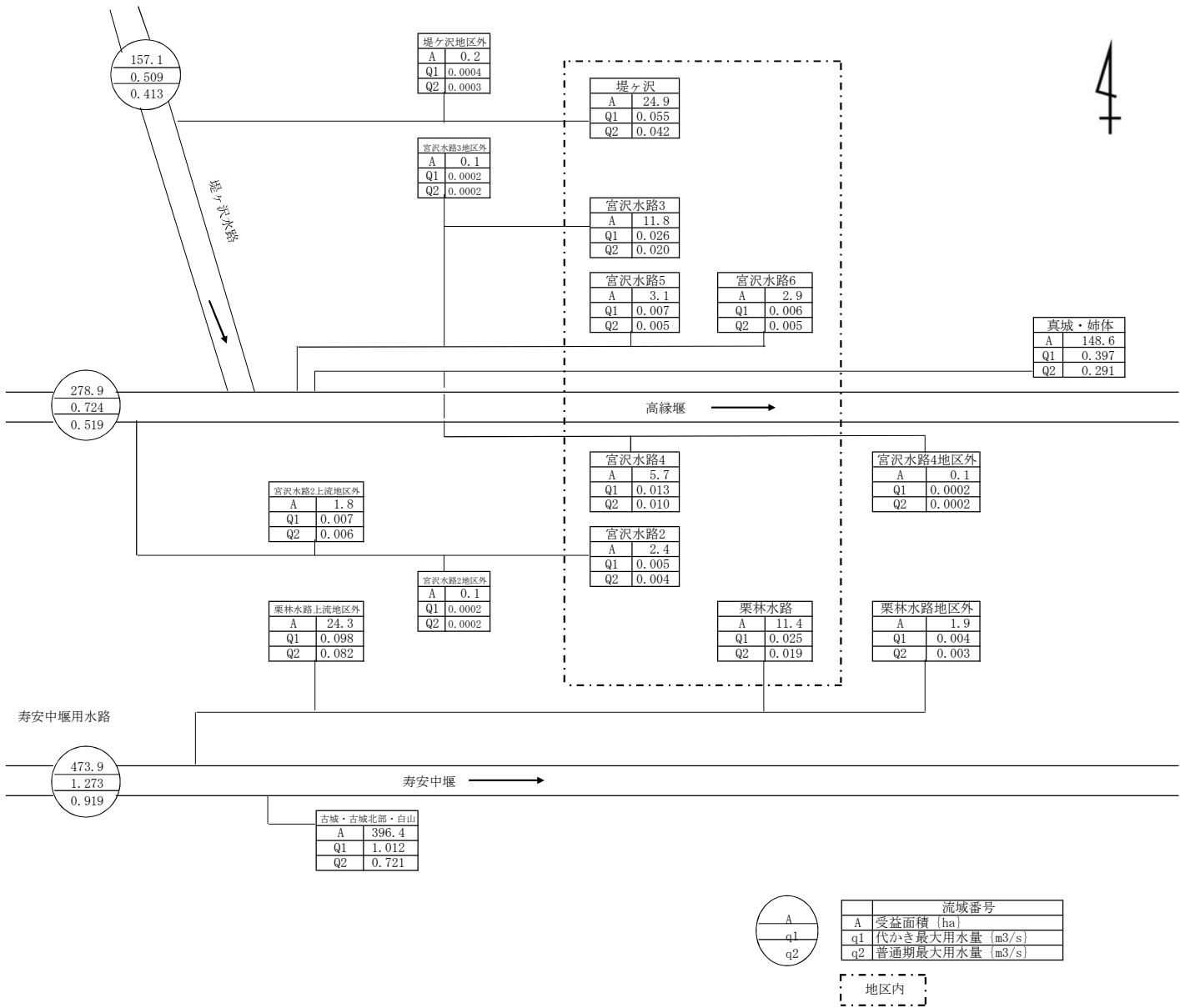
地区内の小用水路は、土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による用水の損失や、法面の崩落等による通水障害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 用水系統

次頁参照

真城南地区現況用水系統模式図

変更前後



(2) 用水施設

上段：変更後

下段：変更前

(ア) 取水方法一覧表

(第5表－1)

事業名	項 目 施設名	かん が い 面 積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備 考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
区 画 整 理	貯 水 池	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	上段：代掻き 下段：普通期
	井 堰	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	自然取水口	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 5	〃 62.2	〃 5	〃 62.2	〃 1	〃 0.137 0.105	〃 －	〃 －	〃 0.137 0.105	水利権 〃 H25.2月
	揚 水 機	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	そ の 他	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	計	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 5	〃 62.2	〃 5	〃 62.2	〃 1	〃 0.137 0.105	〃 －	〃 －	〃 0.137 0.105	
合 計		〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 5	〃 62.2	〃 5	〃 62.2	〃 1	〃 〃 0.137 0.105	〃 －	〃 －	〃 0.137 0.105	

(イ) 改修を要する施設一覧表

上段：変更後
下段：変更前

(第5表－2)

事業名	項 目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
区 画 整 理	貯 水 池							
	井 堰							
	自然取水口							
	揚 水 機							
	用 水 路	// 1	// 62.2	// 土水路	// L=12,900m	// S33年	// 機能低下・断面不足	
	そ の 他							
	計		// 62.2		// L=12,900m			
合 計			// 62.2		// L=12,900m			

(3) 用水に関する被害状況

上段：変更後
下段：変更前

(ア) 用水不足による被害状況

//
該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m³/s)	基準年(m³/s)	平均(m³/s)	基準年(m³/s)			
	計									
合計										

(イ) その他の被害状況

//
該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水 温(℃)		被害量 (t)	備 考
			最高	最低		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

//
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合計												

上段：変更後
下段：変更前

2. 排水状況

本地区の排水は地区内の小排水路を流下し、高縁堰及び寿安中堰へ排水される。

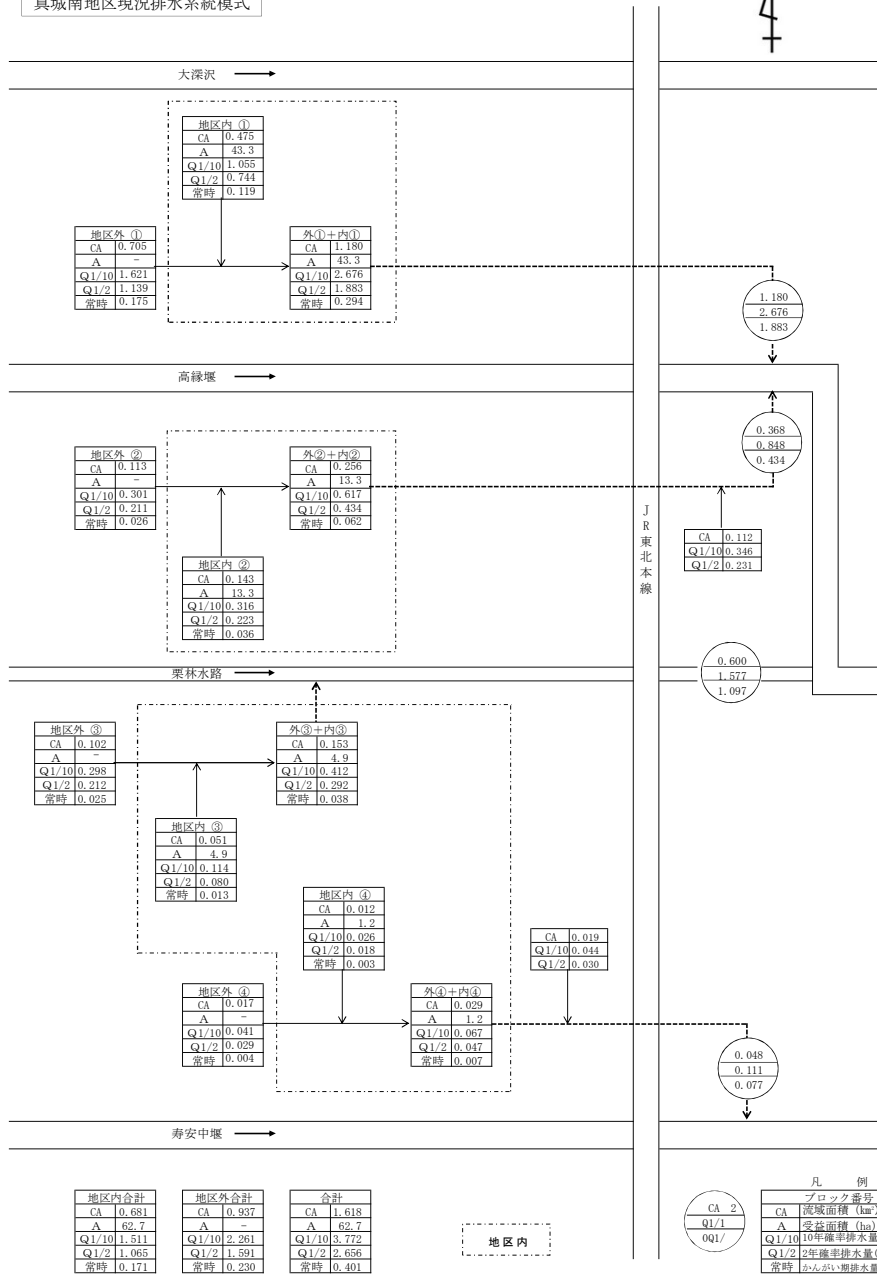
地区内の小排水路は、水路底が浅く地表排水のみが排水可能であるため、水田の汎用化が行えない状況である。また、土水路で断面も一定ではなく、法面の崩落等による通水阻害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 排水系統

次頁参照

真城南地区現況排水系統模式

変更前後



(2) 排水施設

上段：変更後
下段：変更前

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考	
			500ha以上		500～100ha		100ha未満							
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
区画整理	自然	排水路					〃	〃	〃	〃	〃	〃		
		水門						3	161.8	3	161.8	-	3.77	
	機械	排水機												
		水門及び排水機												
		排水路及び排水機												
	計						〃	〃	〃	〃		〃		
							3	161.8	3	161.8		3.77		
合計							〃	〃	〃	〃		〃		
							3	161.8	3	161.8		3.77		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
区画整理	自然	排水路	// —	// 62.7	// 土水路	// (L=12, 900m)	// S33年	// 機能低下・断面不足	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		// —	// 62.7		// L=12, 900m			
	合計		// —	// 62.7		// L=12, 900m			

上段：変更後
下段：変更前

(3) 排水に関する被害状況

//
該当なし

(第5表-6)

事業名	項目	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)	平均維持 管 理 費 (千円)	備 考	
	系統名			湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他					
								乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平 均														
			基 準 年														
			平 均														
			基 準 年														
			平 均														
			基 準 年														
			平 均														
			基 準 年														
	計		平 均														
			基 準 年														
合 計			平 均														

3. 河 川 状 況

上段：変更後
下段：変更前

(1) 河川の現況

//
該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾 配	断 面	安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況

//
該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農 用 地 (千円)	農 用 施 設 (千円)	作 物 (千円)	公 共 施 設 (千円)	備 考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

上段：変更後
下段：変更前

1. 道路概況

ほ場内の耕作道は、砂利道及び舗装であるが、幅員がB=1.5m～2.0m未満と狭く、農作業機械の通行に支障をきたしている状況である。本地区の基幹道路は、[〃]その他市道山居折居町線が地区の中央を東西に横断し、その他市道川尻前町下線が地区中央を南北に縦断している。

2. 主要道路一覧表

上段：変更後
下段：変更前

(第6表)

NO.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	陸中折居停車場線	県		7.7	6.7	アスファルト	否	
2	折居駅うるし林線	市		3.7	3.0	アスファルト	要	
3	折居線	市		4.8	4.2	アスファルト	否	
4	要害本線	市		3.0	2.4	アスファルト	否	
5	真城大橋西側道路	市		3.7		砂利	否	
6	真城大橋西側道路	市		3.6		砂利	否	
7	土手根2号線	市		2.0		砂利	要	
8	川尻前3号線	市		2.3		砂利	要	
9	中林下1号線	市		3.0		砂利	要	
10	川尻前2号線	市		2.1		砂利	要	
11	川尻前町下線	市		3.0	2.0	アスファルト	要	
12	川尻前町下線	市		2.7	2.1	アスファルト	要	
13	山居折居町線	市		9.5	9.0	アスファルト	否	
14	谷地2号線	市		2.5	2.1	アスファルト	要	

上段：変更後
下段：変更前

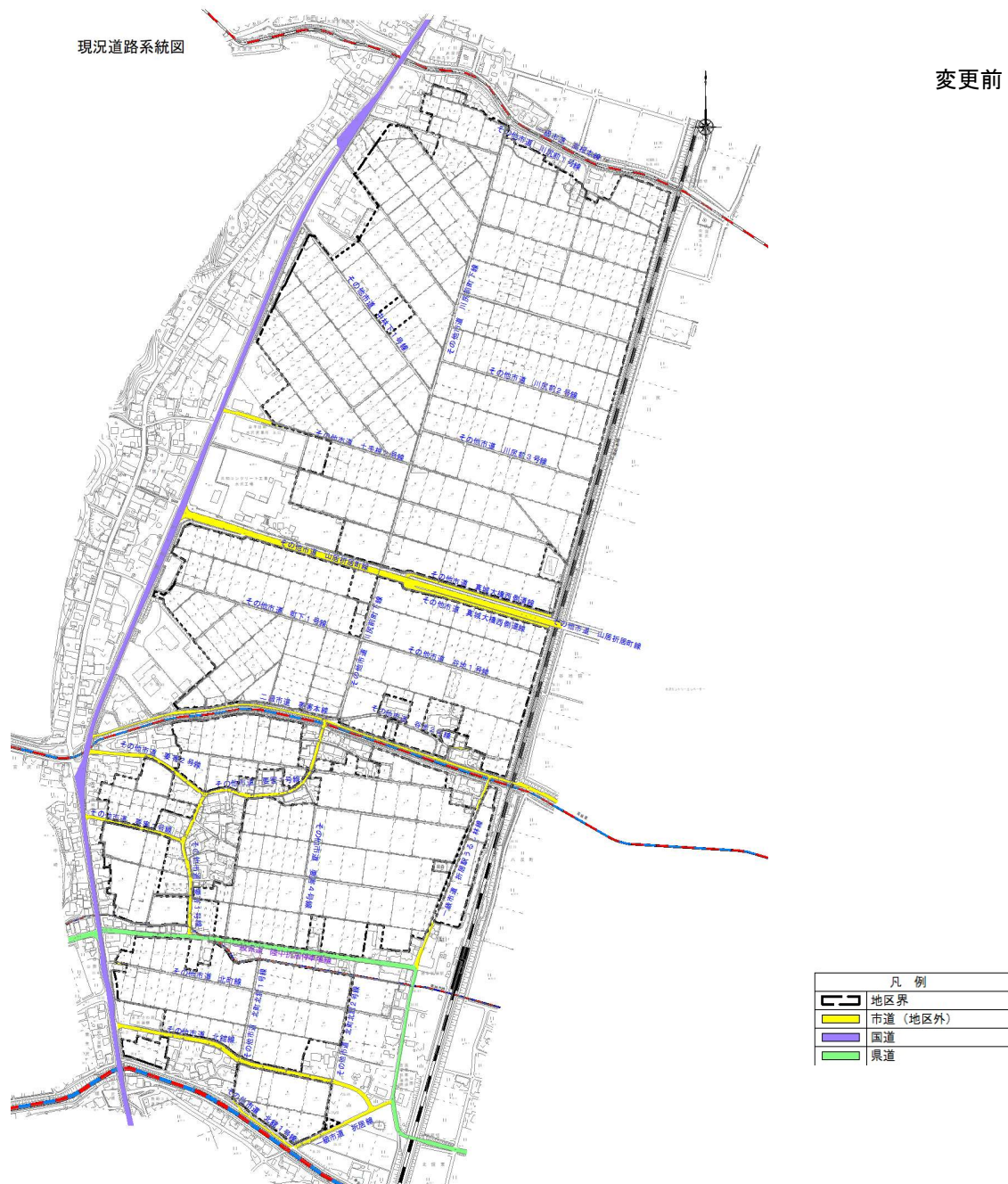
(第6表)

NO.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
15	〃 要害1号線	〃 市		〃 5.2	〃 4.7	〃 アスファルト	〃 否	
16	〃 要害2号線	〃 〃		〃 5.0	〃 4.8	〃 アスファルト	〃 否	
17	〃 要害3号線	〃 〃		〃 4.5	〃 4.3	〃 アスファルト	〃 否	
18	〃 要害4号線	〃 〃		〃 1.7		〃 砂利	〃 要	
19	〃 北町北館2号線	〃 〃		〃 2.4		〃 砂利	〃 要	
20	〃 北町北館1号線	〃 〃		〃 2.5		〃 砂利	〃 要	
21	〃 北町線	〃 〃		〃 2.3		〃 砂利	〃 要	
22	〃 北館線	〃 〃		〃 6.0	〃 5.1	〃 アスファルト	〃 否	
23	〃 谷地1号線	〃 〃		〃 2.1		〃 砂利	〃 要	
24	〃 町下1号線	〃 〃		〃 2.4		〃 砂利	〃 要	

現況道路系統図

現況道路系統図

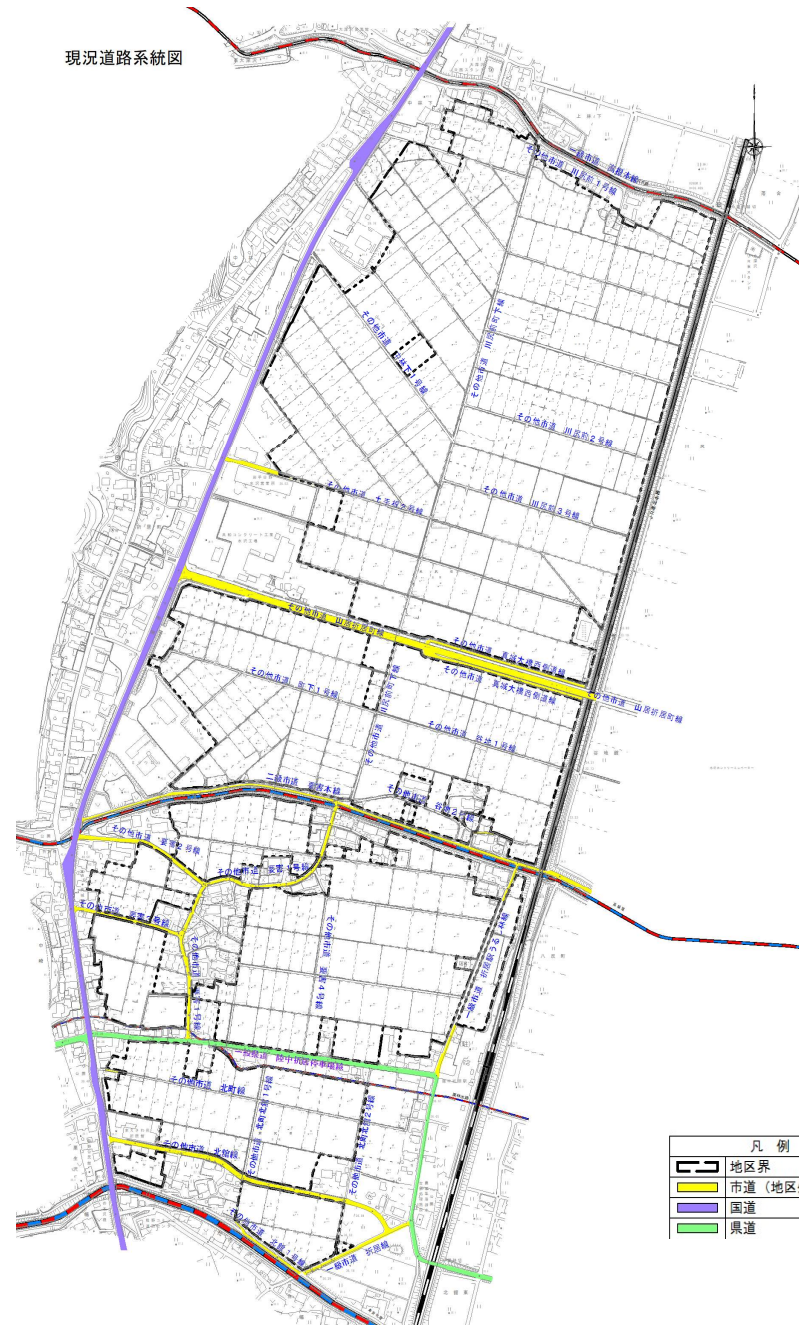
変更前



現況道路系統図

現況道路系統図

変更後



凡 例	
	地区界
	市道 (地区外)
	国道
	県道

上段：変更後
下段：変更前

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

岩手県統計年鑑(R2国勢調査)

岩手県統計年鑑(H27国勢調査)

(第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸売小売業 飲食店 (人)	金 融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備考
〃 奥州市	58,252 61,595	7,328 8,667	152 146	4 3	12 29	4,979 5,438	11,969 12,111	229 261	2,817 2,872	7,577 8,456	851 949	597 576	9,602 10,363	1,663 1,704	10,472 10,020	
計	58,252 61,595	7,328 8,667	152 146	4 3	12 29	4,979 5,438	11,969 12,111	229 261	2,817 2,872	7,577 8,456	851 949	597 576	9,602 10,363	1,663 1,704	10,472 10,020	
比 率 (%)	〃 100%	13% 14%	〃 0%	〃 0%	〃 0%	〃 9%	21% 20%	〃 0%	〃 5%	〃 13%	1% 2%	〃 1%	16% 17%	〃 3%	18% 16%	

上段：変更後
下段：変更前

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020農林業センサス)
(2015農林業センサス) (第7表-2)

区 分 市 町 村 名	農 家 総 戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)										一戸当たり 平均農用地面積 (ha)						耕地の 分散状況		専兼業別 農家数 (戸)			備 考
		例外 規定の適用を 受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸当たり 団地数	団地当たり 面積 (ha)	専 業	兼業		
			～	～	～	～	～	～	～	ha											第 一 種	第 二 種	
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	以上													
〃 奥州市	8,200 10,189	- 18	- 1,019	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 264	- 110	2,127 2,398	1.6 1.5	〃 0.2	〃 0.0	1.8 1.7	〃 -	1.8 1.7			- 1,851	- 807	- 5,133	
計	8,200 10,189	- 18	- 1,019	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 264	- 110	2,127 2,398	1.6 1.5	〃 0.2	〃 0.0	1.8 1.7	〃 -	1.8 1.7			- 1,851	- 807	- 5,133	
比 率	- 100%	- 0%	- 10%	- 22%	- 15%	- 10%	- 10%	- 5%	- 3%	- 1%	26% 24%	90% 88%	10% 12%	〃 0%	〃 100%	〃 0%	〃 100%	〃 -	〃 -	- 24%	- 10%	- 66%	

上段：変更後

下段：変更前

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020農林業センサス)

(2015農林業センサス)

(第7表-3)

市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
奥州市	- 8,132	- 6,579	- 5,623	- 5,385	- 3,256	- 3,068	735 943	25 35	15,854 12,672	683 946	- 9,660	4 3	
計	- 8,132	- 6,579	- 5,623	- 5,385	- 3,256	- 3,068	735 943	25 35	15,854 12,672	683 946	- 9,660	4 3	
100戸当たり 数量 (台、頭)	- 80		- 55		- 32		〃 9		193 124		- 95		
利用戸数 割合 (%)	- 64.6%		- 52.9%		- 30.1%		〃 0.3%		8.3% 9.3%		〃 0.0%		農家総戸数 8,200戸 10,189戸

4. 主要作物作付状況

上段：変更後
下段：変更前
(第7表-4)

市 町 村 名			奥州市				計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積(ha)			19,800 19,900				19,800 19,900			
区 分			作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
作 物 名										
田	表 作	〃 水 稲	10,285 10,600	〃 558			10,285 10,600	〃 558	68.3 78.1	2020農林業センサスより H27農林水産統計より
		小 計	10,285 10,600				10,285 10,600		68.3 78.1	
普 通 畑	春 夏 作	〃 小麦	154 232	195 182			154 232	195 182	1.0 1.7	2020農林業センサスより 2015農林業センサスより
		〃 大豆	1,384 1,074	141 184			1,384 1,074	141 184	9.2 7.9	2020農林業センサスより 2015農林業センサスより
		〃 野菜類	200 198				200 198	〃 －	1.3 1.5	2020農林業センサスより 2015農林業センサスより
		〃 牧草	651 619				651 619	〃 －	4.3 4.6	2020農林業センサスより 2015農林業センサスより
		〃 その他	2,028 536				2,028 536	〃 －	13.5 3.9	2020農林業センサスより 2015農林業センサスより
		〃 花き類・花木	71 51				71 51	〃 －	0.5 0.4	2020農林業センサスより 2015農林業センサスより
		小 計	4,488 2,710				4,488 2,710		29.8 20.0	
		樹 園 地	〃 果樹類	277 255				277 255	〃 －	〃 1.9
	小 計		277 255				277 255		〃 1.9	
計			15,050 13,565				15,050 13,565		〃 100.0	
市 町 村 別 延べ作付率(%)			76.0 68.2				76.0 68.2			

5. 農業の動向

上段：変更後

下段：変更前

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地 域 指定等	備考
		B (H27) (H22)	A (R2) (H27)		B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	作物名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	家畜名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	農機具名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)			
変化の 状 況 (C年を100 とする指数)	総農家	87 90	70 79	耕地	96 91	85 80	水稻	100 91	100 93	乳用牛	56 150	43 84	耕耘機 トラクター	〃 88	－ 79		農 振	A:令和2年 (2020)
	専業 農家数	99 118	－ 117	田	99 90	87 79	大豆	96 132	124 283	肉用牛	66 102	83 78	動力田植機	83 82	－ 70		S45. 3. 31 広域団地	A:平成27年 (2015)
	第一種 兼業農家	58 85	－ 50	畑	75 82	68 62	麦類	116 67	77 171	豚	105 65	－ 287	コンバイン	96 81	－ 80		〃 S52	B:平成27年 (2015)
	第二種 兼業農家	82 80	－ 66	樹園地	90 99	68 96	野菜	77 92	78 74	採卵鶏	198 39	96 882					野 菜	B:平成22年 (2010)
	農業 従事者	75 85	54 64	草地	81 148	85 120											H6. 5. 30 酪 農	C:平成22年 (2010)
																	〃 H9. 1	C:平成17年 (2005)
変化の 理 由	総農家数、農業従事者は減少している。			〃			水稻は、耕地面積が横ばいである。また、転作農地の有効利用は大豆が増加している。			家畜数が減少している。			2020年農林業センサスにおいて調査対象外					
	総農家数、農業従事者は減少しているものの、農地集積や担い手対策の推進、認定農業者や法人組織育成の取組みが行われており、専業農家は横ばいとなっている。			農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			農地集積や法人組織の増加に伴い、水田畑利用が促進され土地利用型作物が増加する一方で、花き、果菜類等の園芸作物が減少している。			乳用牛及び肉用牛は減少しているが、豚及び採卵鶏は増加している。			農作業の省力化を図るため、大型トラクター、コンバインの導入が進んでいる。一方、水稻の作付面積が減少しているため農機具も減少傾向にある。					

第6節 地域環境の概況

〃

本地域は、水環境が多様で豊かな生態系が存在している。自然の川はなく、農業用排水路が横断し、県内有数の穀倉地帯を潤している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種及び希少種の食餌動植物等生育・生息に不可欠な種、良好な環境の指標となる種の生育・生息が確認されている。

地域ではそれらの生態系に配慮し、水路の維持管理に取り組んでいる。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

上段：変更後

下段：変更前

1. 要 旨

〃

本計画にて高生産性ほ場を造成することにより、区画形質の改善、用排水路と農道の整備、換地による農地の集団化を総合的に実施し、農業生産性の向上をめざす。また、暗渠排水を施し、農地の汎用化を促進して、農作業効率の向上を図るとともに土地の生産性を高める。

環境との調和への配慮として、地域で生息・生育が確認されている動植物の生態環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境への改変を最小限にするよう努めることとする。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	区 画 整 理																		計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
区画整理	58.0 58.1	〃 0.1	〃 -	〃 -	10.0 9.9	〃 68.1	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 68.1	
計	58.0 58.1	〃 0.1	〃 -	〃 -	10.0 9.9	〃 68.1	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 68.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

上段：変更後
下段：変更前

1. 営農計画の概要

〃

本事業により農地の集団化、ほ場の汎用化、及び大型機械の導入をめざした土地基盤の整備を実施し、土地の高度利用と農業経営の近代化を図る。

事業をきっかけに、農地保有適格法人2組織と個別担い手5名に農地集積を進めながら、農機具等への過剰投資の抑制・有効利用等により、農業生産費削減と効率向上を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
県営経営体育成 基盤整備事業 (区画整理)	現 況	〃 62.2	〃 0.5	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 62.7	〃 -	〃 -	〃 5.4	〃 68.1	
	計 画	58.0 58.1	〃 0.1	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	58.1 58.2	〃 -	〃 -	10.0 9.9	〃 68.1	
	現 況												
	計 画												
計	現 況	〃 62.2	〃 0.5	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 62.7	〃 -	〃 -	〃 5.4	〃 68.1	
	計 画	58.0 58.1	〃 0.1	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	58.1 58.2	〃 -	〃 -	10.0 9.9	〃 68.1	

上段：變更後
下段：變更前
(第9表-2)

– 31 –

上段：變更後
下段：變更前

(現況本地率 水田:95.6% 畑:99.4%)

(計画本地率 水田:98.1% 畑:99.4%)

(第9表-3)

[illegible]

※作付面積は本地面積で整理

上段：変更後
下段：変更前

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項 目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備 考
	土地利用区分			区 分	現 況	計 画	増 減	
県営経営体育成基盤整備事業（区画整理）	水 田	水 稻	15.6 5.1	人 力	35.9	22.1	13.8	(No, 1-1) 10a湿田→30a乾田
				機械力	26.7	18.7	8.0	
			29.7 40.3	人 力	35.9	4.8	31.1	(No, 4) 10a湿田→大区画乾田
				機械力	26.7	5.2	21.5	
		大豆	11.6	人 力	12.5	4.2	8.3	(No. 22) 10a湿田→大区画乾田
				機械力	28.9	9.8	19.1	
	計	56.9 57.0						
合 計			56.9 57.0					

6. 級地別土地利用区分

上段：変更後
下段：変更前

〃
該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

〃
該当なし

(第9表-6)

項目 区分		配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
			田	輪換耕地	畑					計	
					普通畑	牧草地	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()		
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()		

第3節 用水計画

1. 計画基準年

//
昭和53年
(本地区の上位事業である、「国営胆沢平野農業水利事業」及び「県営農業用水再編対策事業胆沢平野地区」より)

2. 計画かんがい方式

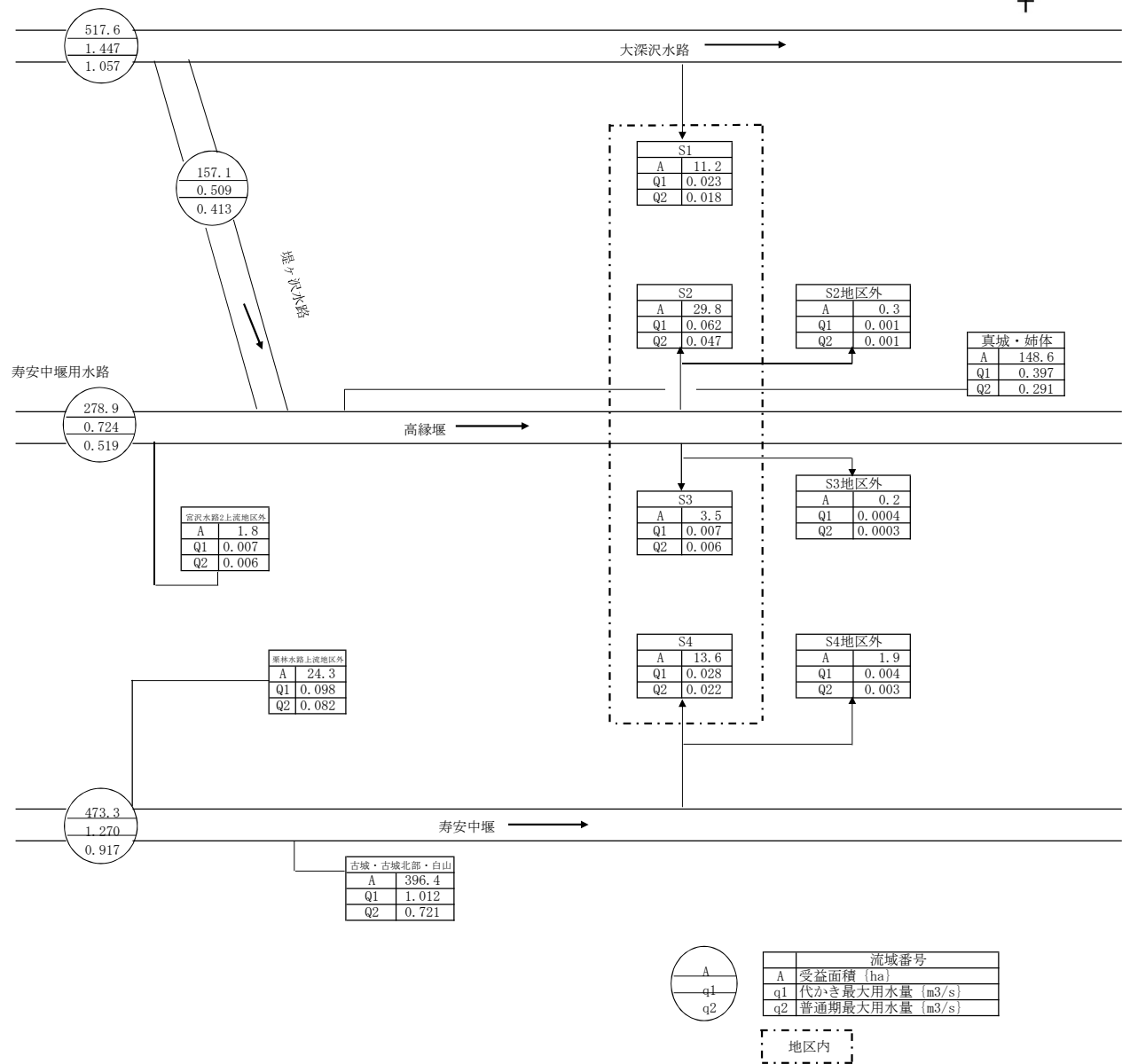
//
水田(水稻) 湛水かんがい方式
//
かんがい期間 4月21日～9月10日 143日間
//
(代掻き期間 4月21日～5月5日 15日間)

3. 計画用水系統図

//
次頁参照

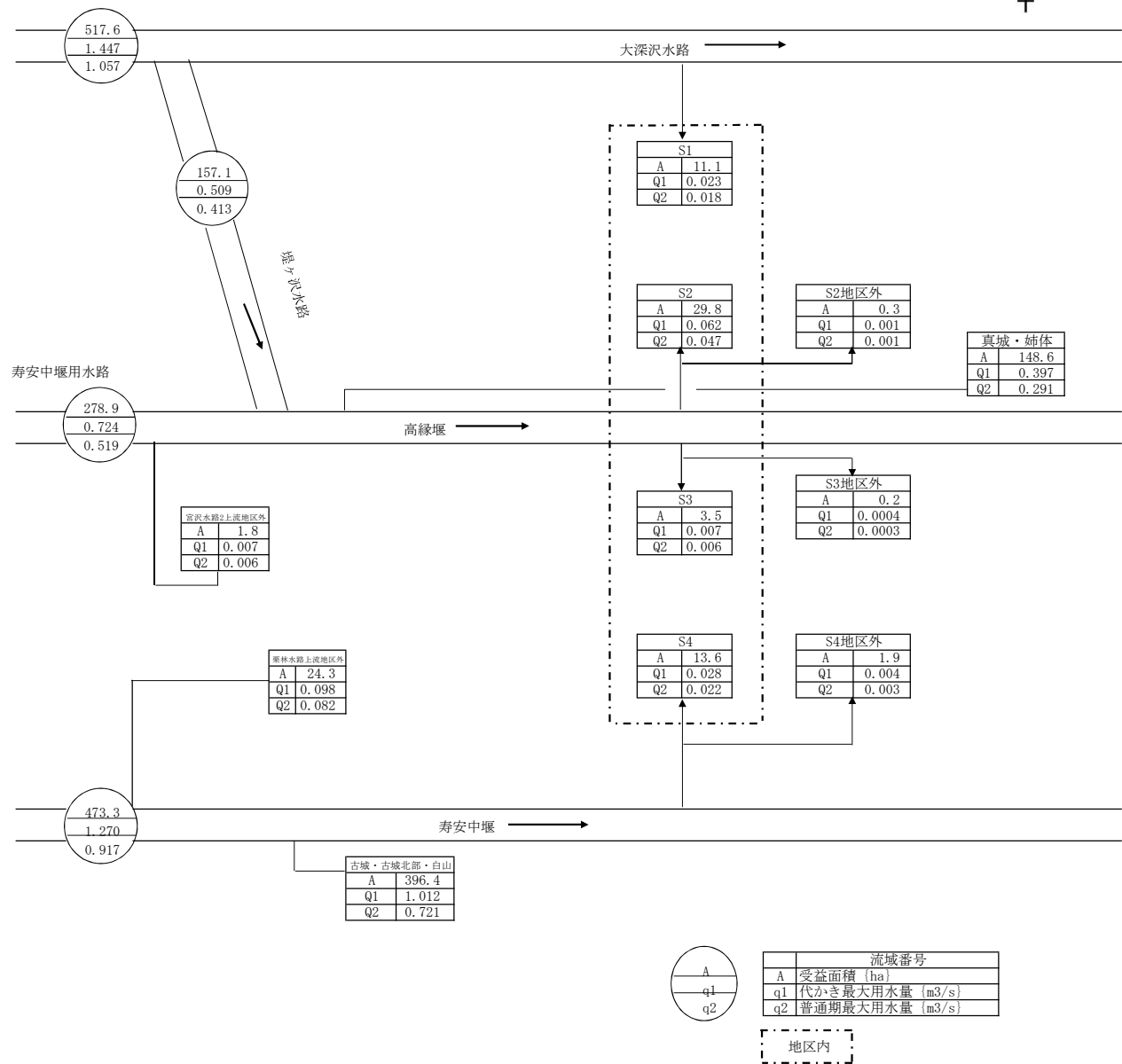
真城南地区計画用水系統模式図（変更前）

変更前



真城南地区計画用水系統模式図（変更後）

変更後



4. 計画用水量

上段：変更後

下段：変更前

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名 \ 項目	種別	面 積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消 費 水 量 (m3/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
		事 業 名			普通期	代かき期	面 積 (ha)	一平 日 均 当 か た り 計 水 画 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一平 日 均 当 か た り 計 水 画 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計平均 単 位 用 水 画 量 (mm/日)	面 積 (ha)			平	最	
		区 画 整 理	地 区 外	計	計単 画 位 用 平 水 均 量 (mm/日)	計単 画 位 代 用 か 水 き 量 (mm)														
〃 高縁堰	〃 農業用水	〃 33.3	〃 2.3	〃 35.6	〃 13～25	〃 100～120	〃 35.6									〃 0.062	〃 10	〃 0.053	〃 0.069	
〃 大深沢水路	〃 農業用水	11.1 11.2	〃 -	11.1 11.2	〃 13～25	〃 100～120	11.1 11.2									〃 0.021	〃 10	〃 0.018	〃 0.023	
〃 寿安中堰	〃 農業用水	〃 13.6	〃 26.2	〃 39.8	〃 13～25	〃 100～120	〃 39.8									〃 0.025	〃 10	〃 0.022	〃 0.028	
計		58.0 58.1	〃 28.5	86.5 86.6			86.5 86.6									〃 0.108		〃 0.093	〃 0.120	

(2) 営農飲雑用水

上段：変更後
下段：変更前

//
該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (リットル/日)	最大給水量 (リットル/日)			
				計					

5. 水源計画

上段：変更後

下段：変更前

(1) 水利用計画

有効雨量 水田(水稻)：5mm/日～80mm/日の80%
 (畑利用)：－
 TRAM 水田(畑利用)：－mm
 間断日数 水田(畑利用)：－日
 かんがい効率 水田(水稻)：85、90%
 水田(畑利用)：－%

(第10表-2)

項 目 区 分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備 考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量	純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水 量		
		a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率：α
事業名	区画整理	1,066	－	1,106	1,184	若柳頭首工	1,184	1,106	0	0	－	1,184	頭首工	
	計	1,066	－	1,106	1,184		1,184	1,106	0	0	－	1,184		

(2) 用水対策

上段：変更後

下段：変更前

(ア) 貯水池

//
該当なし

(第10表-3)

項 目 貯 水 池 名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ ／s)	備 考
	直 接	間 接	事 業 名								
			区画整理		計						

(イ) 井堰及び自然取入口

//
該当なし

(第10表-4)

項 目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量(m ³ /s)		渇 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
			区画整理		計				

(ウ) 揚水機

//
該当なし

(第10表-5)

項 目 名 称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量(m³/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名			最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
		区画整理		計							

(エ) 用 水 路

上段：変更後

下段：変更前

(第 1 0 表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	区画整理	(地区外)	計				
用水路工	58.0 58.1	// 28.5	86.5 86.6	// 0.230	8.362 8.392	// VU350～VU75	

(オ) その他の水源施設

//
該当なし

(3) 水温水質

//
該当なし

第4節 排水計画

上段：変更後

下段：変更前

1. 計画基準雨量

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版 若柳観測所）

最大24時間雨量	139.2 mm (1/10年)	93.2 mm (1/2年)
最大4時間雨量	68.6 mm (1/10年)	48.4 mm (1/2年)
最大1時間雨量	33.0 mm (1/10年)	22.3 mm (1/2年)

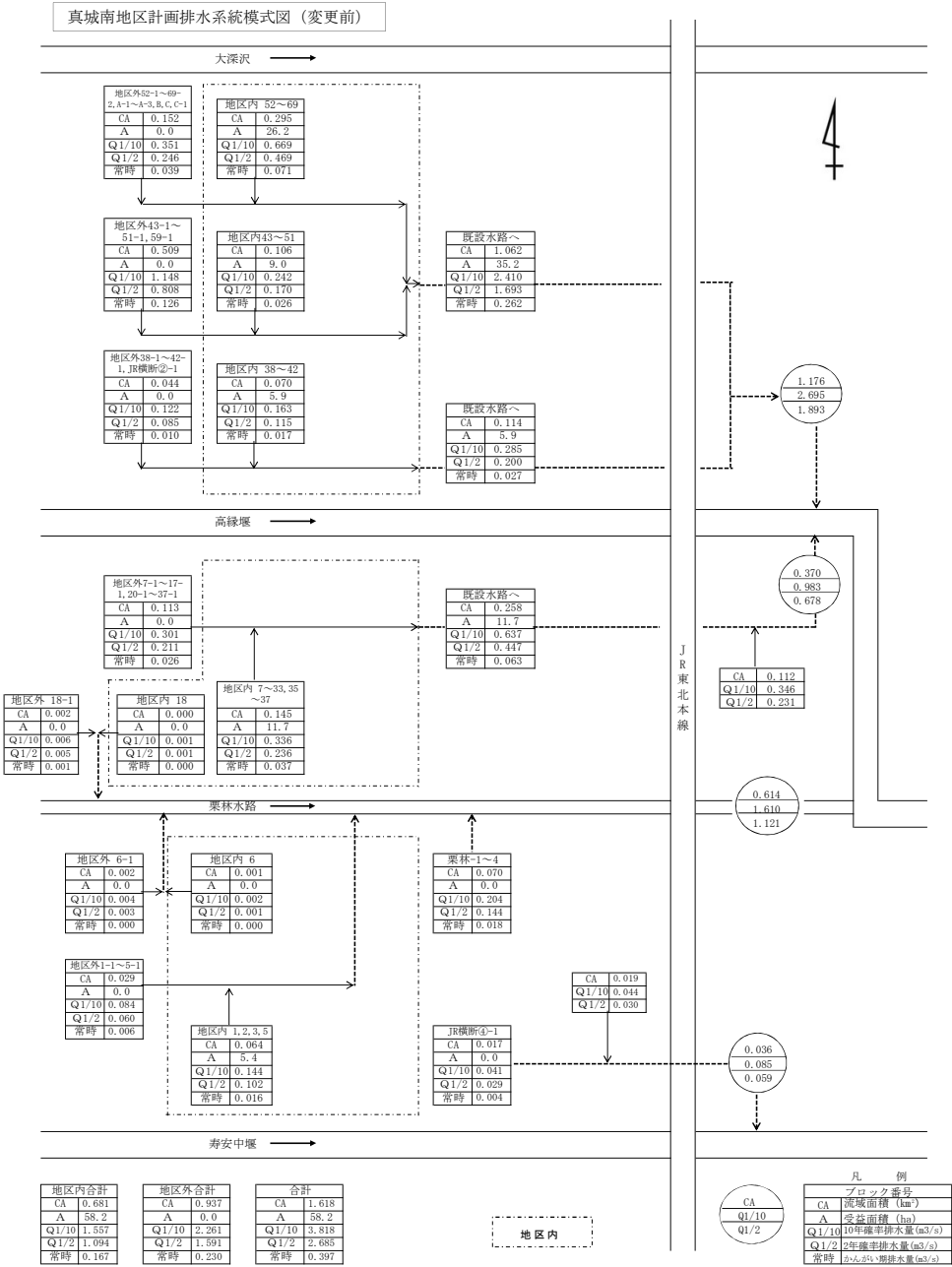
2. 計画排水方式

自然流下排水

3. 計画排水系統図

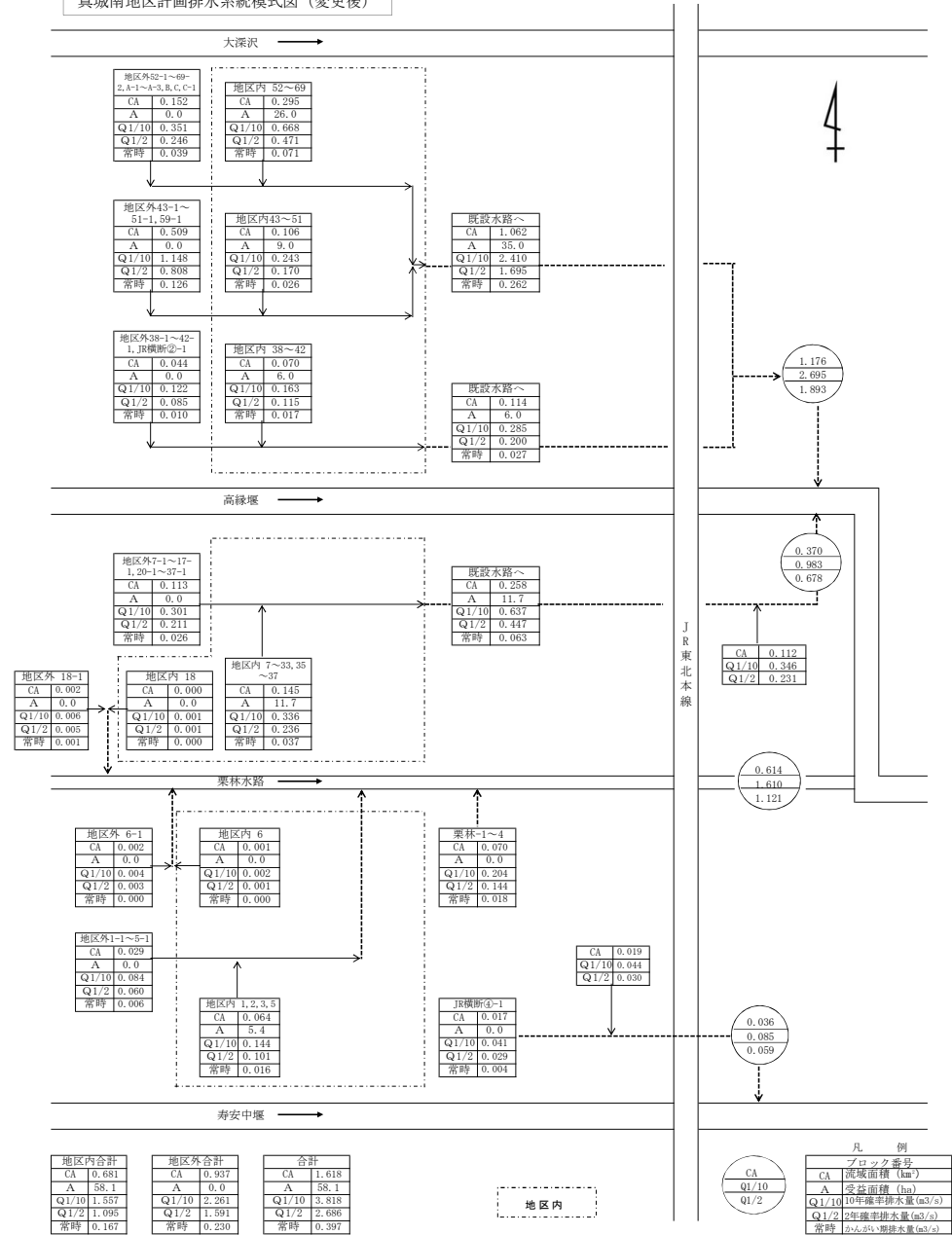
次頁参照

変更前



変更後

真城南地区計画排水系統模式図（変更後）



上段：変更後

下段：変更前

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水 系統名		受益面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準 雨量	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考	
		事 業 名										平 地		単位排水量			
		区画整理		計	山地	平地	(mm)	山地	平地	山地	平地	山地	自然排水	機械排水	山地		平地
寿安中堰		〃 －		〃 －		〃 0.017	68.6mm/4hr	〃 1.667	〃 1.429～ 4.288		〃 0.25		〃 0.041	〃 －	〃 1.667	〃 1.429～ 4.288	
栗林水路		〃 5.4		〃 5.4		〃 0.167		〃 〃	〃 〃		〃 〃		〃 0.445	〃 －	〃 〃	〃 〃	
高縁堰		52.7 52.8		52.7 52.8		〃 1.434		〃 〃	〃 〃		〃 〃		〃 3.332	〃 －	〃 〃	〃 〃	
計		58.1 58.2		58.1 58.2		〃 1.618							〃 3.818	〃 －			

5. 排水対策

上段：変更後
下段：変更前

(1) 排水水門 ”
該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積(ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん 水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機 ”
該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積(ha)			計 画		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん 水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m3/s)	
				計							

(3) 排水路

上段：変更後

下段：変更前

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
小排水路	〃 1.618	58.1 58.2		58.1 58.2	〃 3.818	10.366 10.389	〃 HF300×300 ～HF1300×600	〃 北上川	〃 －	〃 －	
計	〃 1.618	58.1 58.2		58.1 58.2	〃 3.818	10.366 10.389					

(4) その他

〃
該当なし

6. 湛水検討

〃
該当なし

第5節 道路計画

上段：変更後

下段：変更前

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目 幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路 (A)	5.0(4.0)×7.249 5.0(4.0)×7.269	// 敷砂利工 (t =10cm)	// 県道、市道取付あり	// 腹付拡幅含む
支線道路 (B)	-	-	-	
耕作道	3.0(2.5)×0.723	敷砂利工 (t =10cm)		
-	-	-		
計	L=7.972km L=7.269km			

(2) 索道

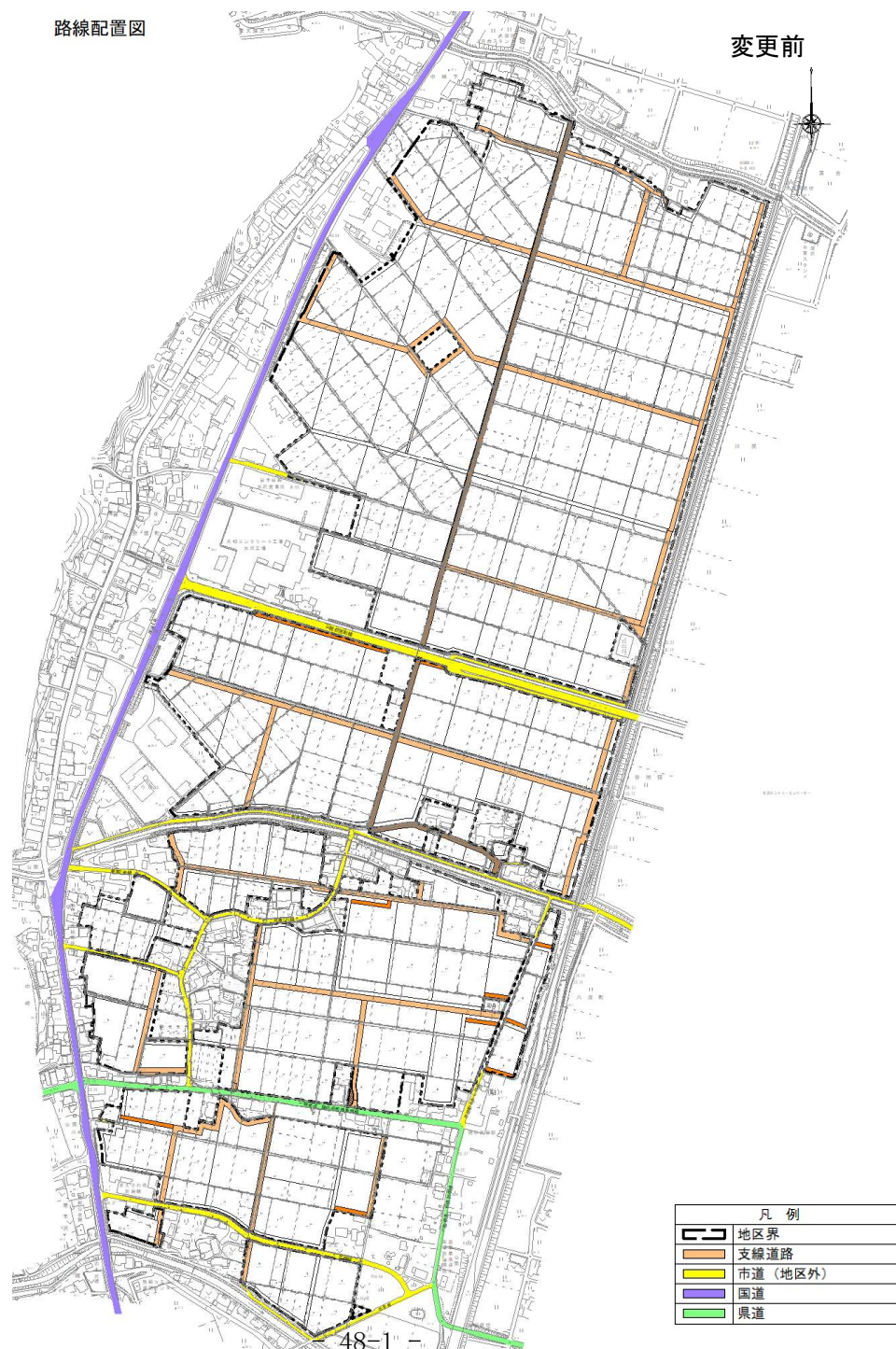
//
該当なし

2. 路線配置図

//
別紙のとおり

路線配置図

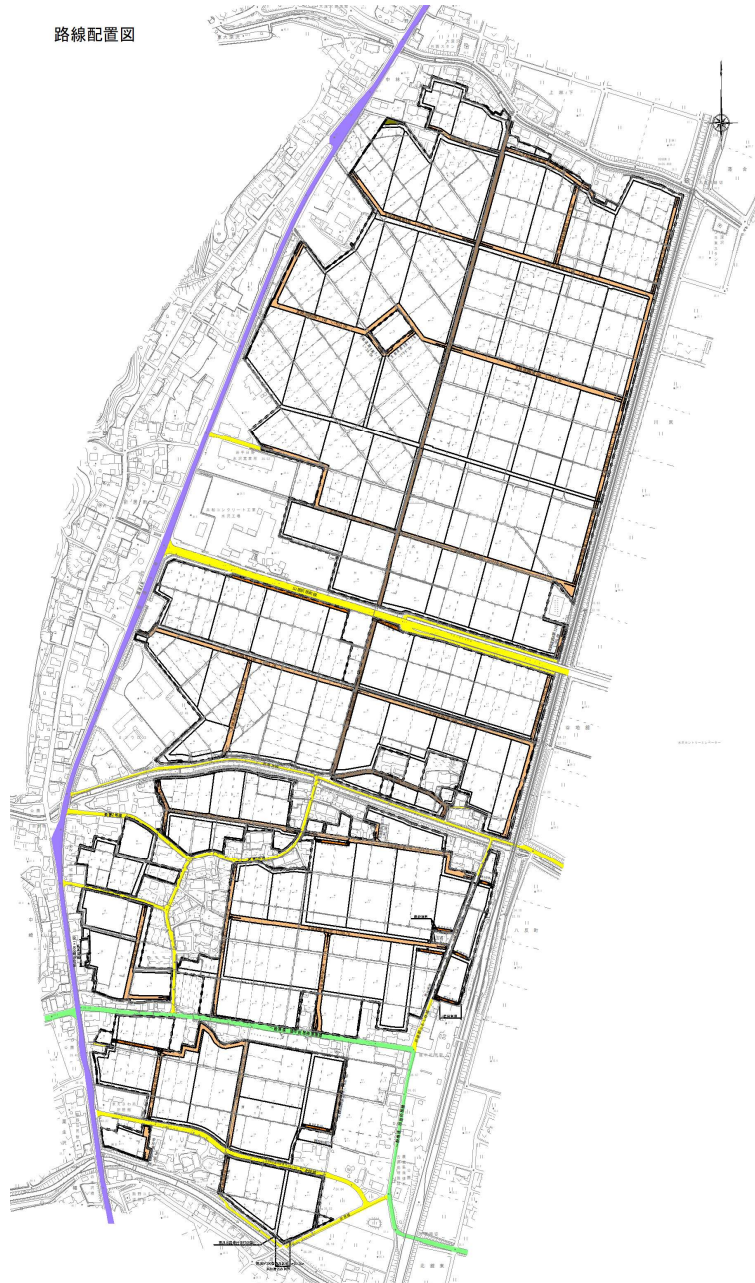
変更前



凡 例	
	地区界
	支線道路
	市道（地区外）
	国道
	県道

路線配置図

変更後



凡 例	
	地区界
	支線道路
	市道（地区外）
	国道
	県道

第6節 農用地造成計画

上段：変更後
下段：変更前

1. 農用地造成計画 (1) 農地造成計画

〃
該当なし

(第13表-1)

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道排水路配置計画

〃
該当なし

2. 土壌改良

〃
該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	P H		置換酸度 (Y ₁)	りん酸吸 収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量 (t/ha)			備考
			H ₂ O	KG1			石炭	りん酸質資材	有機質 資材	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

上段：変更後

下段：変更前

2. 計画洪水量及び調節量

//
該当なし

(第 1 4 表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	調 節 後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

//
該当なし

(第 1 4 表-2)

項目 貯水地名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

上段：変更後
下段：変更前

(1) 河川改修計画との関係 //

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 //

該当なし

(3) 計画基準雨量以外についての検討 //

該当なし

5. 管理計画

(1) 管理機構 //

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準 //

該当なし

(3) 洪水調節要領 //

該当なし

第8節 干拓計画

//
該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (I P m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

上段：変更後

下段：変更前

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
〃	〃	10.1	〃	〃	〃
125 × 80	1.0以上	10.2	18	0.8～0.1	水田
〃	〃	34.6	〃	〃	〃
125 × 40	0.5以上	35.1	60	0.8～0.1	〃
〃	〃	9.0	〃	〃	〃
不定形	0.3以上	8.5	15	0.8～0.1	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃
不定形	0.3未満	4.4	7	0.8～0.1	水田、畑
計		58.1 58.2			

(2) 表土扱い

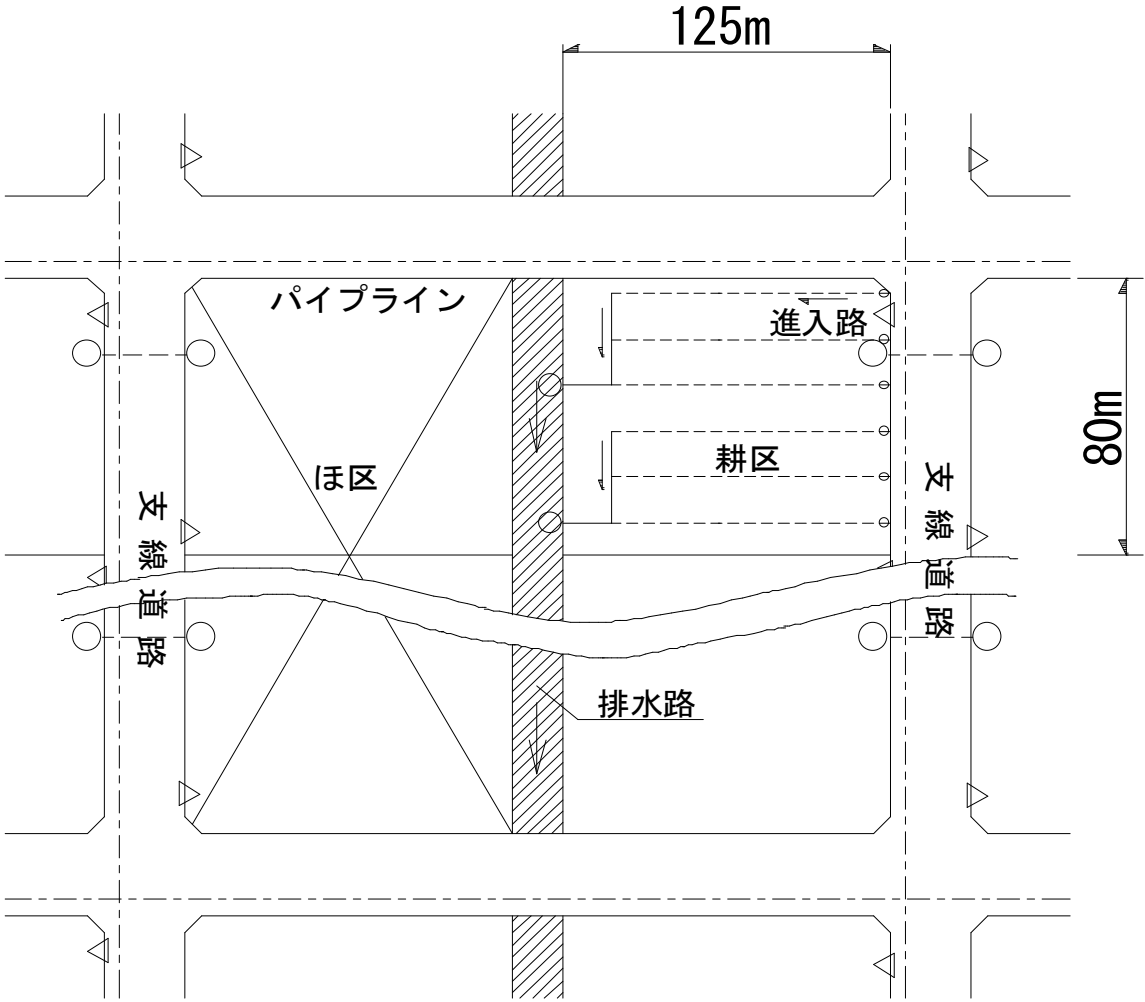
(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
58.1	〃	〃	87,200	水田58.0ha×15cm=87,000m3 畑 0.1ha×20cm=200m3
58.2	地力の保持	15、20	87,350	水田58.1ha×15cm=87,150m3 畑 0.1ha×20cm=200m3

(3) 末端道水路配置図

〃

別紙のとおり



2. 暗渠排水
(1) 暗渠排水

上段：変更後
下段：変更前

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha) 事業名			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備 考
	区画整理		計						
暗渠排水	58.0 58.1		58.0 58.1	// グライ土壌強粘土構造型	// 50	// 5.79	// 0.4	// 自然排水	// E40
計	58.0 58.1		58.0 58.1						

(2) 心土破碎

//

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha) 事業名			土壌統 (区) 名	土壌硬度 (mm/日)	備 考
計						

(3) 侵食（崩壊）防止工

上段：変更後

下段：変更前

〃
該当なし

(第16表-5-3)

区分 \ 項目	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

第 1 0 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

〃
該当なし

(1) 計画基準雨量

〃
該当なし

(2) 計画洪水量

〃
該当なし

2. 堤体補強計画

〃
該当なし

3. 取水施設改修計画

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第 5 章 主 要 工 事 計 画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池 //

該当なし

(第 1 7 表-1)

名 称				位 置						備 考
堤 体	形 式	流域面積(km²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 質 (千m³)	基盤地盤地質	貯 水 量 (千m³)		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	形 式	排水量 (m³/s)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m³/s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m³/s)	

上段：変更後
下段：変更前

2. 頭首工 //

該当なし

(第17表-2)

(第11表 2)

名 称	位 置						備 考
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付帯施設	
		固定部	可動部				

3. 揚水機 //

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位 置	揚 水 量 (m³/s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	

第2節 排水施設

上段：変更後
下段：変更前

1. 排水水門 //
該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m³/s)	備考
計							

2. 排水機 //
該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位 置	排 水 量 (m³/s)	揚 程		排 水 機			原 動 機			備 考
			実 揚 程 (m)	全 揚 程 (m)	形 式	口 径 (m)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	
計											

3. 排水路

上段：変更後

下段：変更前

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開水路	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
排水路工	58.1		58.1	〃	9.717	0.649	10.366	〃	〃	〃	
	58.2		58.2	0.001～2.410	9.800	0.589	10.389	HF300×300 ～HF1300×600	1/130～ 1/1900	水槽工 横断暗渠工	
計	58.1		58.1		9.717	0.649	10.366				
	58.2		58.2		9.800	0.589	10.389				

4. その他排水施設

〃
該当なし

第3節 道路及び索道

上段：変更後
下段：変更前

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線道路(A)	〃	5.0(4.0) × 7.249	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	腹付拡幅 含む
	-	5.0(4.0) × 7.269	砂利道	横断暗渠	HP500等	-	-	-	-	
支線道路(B)	〃	-	-	-	-	〃	〃	〃	〃	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
耕作道	〃	3.0(2.5) × 0.723	砂利道	〃	〃	〃	〃	〃	〃	腹付拡幅 含む
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		L=7.972km								
		L=7.269km								

(2) 道路主要構造物

〃
該当なし

2. 索 道

〃
該当なし

第4節 農用地造成

上段：変更後
下段：変更前

1. 農用地造成

//
該当なし

(1) 抜根

//
該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

//
該当なし

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

上段：変更後
下段：変更前

(3) 開墾作業

〃
該当なし

(第20表-3)

（第2-3表）

項目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区分	造成方法			
地 目				
計				

(4) 地目交換

〃
該当なし

(第20表-4)

(5) 末端用水路等

〃
該当なし

(第20表-5)

(6) 末端排水路等

〃
該当なし

(第20表-6)

2. 土壌改良

〃
該当なし

(第20表-7)

項目	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	備 考
区分					
計					

第5節 洪水調節施設

上段：変更後
下段：変更前

1. 貯水池
〃
該当なし
2. 頭首工及び導水路
〃
該当なし
 - (1) 頭首工
〃
該当なし

(第2 1表-2)

名 称			位 置		(第2表 2)			備 考
			堤 長 (m)					
形 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設	

- (2) 導水路
〃
該当なし

(第2 1表-3)

項目 水路名	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防
〃
該当なし

(第2 2表-1)

項目 名 称	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備 考

2. 潮止め
〃
該当なし

(第2 2表-2)

項目 名 称	工 法	幅 見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設
〃
該当なし

4. 埋立
〃
該当なし

(第2 2表-3)

項目 名 称	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備 考

第7節 農用地整備施設

上段：変更後

下段：変更前

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
真城南	10.1	〃	〃	10.1	15,150	〃
	10.2	125 × 80	—	10.2	15,300	水田
	34.6	〃	〃	34.6	51,900	〃
	35.1	125 × 40	—	35.1	52,650	水田
	9.0	〃	〃	9.0	13,500	〃
	8.5	不定形	—	8.5	12,750	水田
	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4.4	不定形	—	4.4	6,650	水田、畑
計	58.1			58.1	87,200	
	58.2			58.2	87,350	

(2) 末端用水路等

〃
該当なし

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(3) 末端排水路等

〃
該当なし

(第23表-3)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

上段：変更後
下段：変更前

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	区画整理		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
目動埋設型暗渠工	58.0 58.1		58.0 58.1	// レベル	// ポリ管	// φ50~65	// 29	// 水頭差	// ポリ管	// φ50~60	// 0.6	// 10	// 947	// 小排水路	// HF	// 178	
計	58.0 58.1		58.0 58.1														

(2) 心土破碎

//
該当なし

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

//
該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	区画整理		計					
計								

4. 除礫

//
該当なし

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

5. 農地保全

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

(1) 防災林

〃
該当なし

(第23表-7)

区分 \ 項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路

〃
該当なし

(第23表-8)

区分 \ 項目	延長 (m)	流量 (m)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工

〃
該当なし

(第23表-9)

名称 \ 項目	構造	数量	備考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

上段：変更後
下段：変更前

1. 貯水池

//
該当なし

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	形 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
洪水吐	形 式	洪水量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

//
該当なし

(1) のり面保護施設

//
該当なし

(2) 漏水防止工

//
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第6章 付 帯 工 事 計 画

//
該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 平成 // 28 年度

完 了 令和 // 6 年度

第8章 環境との調和への配慮

//
本地域は、水環境が多様で豊かな生態系が存在している。自然の川はなく、農業用排水路が縦横断し、県内有数の穀倉地帯を潤している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種及び希少種の食餌動植物等生育・生息に不可欠な種、良好な環境の指標となる種の生育・生息が確認されている。

地域ではそれらの生態系に配慮し、水路の維持管理に取り組むとともに、専門家の指導を得ながら、施工前に希少動植物の移植を行ったり、施工時の騒音振動を抑えた対策をとるなど環境配慮にも取り組む。

第9章 換地計画の概要

上段：変更後

下段：変更前

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

〃

地区内は、小区画水田(10a)で農道幅員1.5～2.0mと狭小であり、大型農業用機械の有効活用や農産物の円滑な搬出に支障をきたしているほか、地区内の用排水路は老朽化し維持管理に労力を要している。また、地区内の農地が分散錯雑しているため、集落営農や担い手の営農の効率化及び規模の拡大に支障をきたしている。

このような状況を解消し、効率的かつ省力的な営農を展開するため、ほ場整備を行うとともに、換地による集団化を図り、担い手への作業受委託の促進、拡充を図り、担い手中心の生産性の高い農業を実現できるように換地計画を樹立する必要がある。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
〃 真城南	〃 岩手県奥州市水沢真城、前沢古城地内	〃 68.1
計		〃 68.1

2. 換地区を設定する理由

〃

計画地区の地形条件はおおむね同様であるので、換地工区を1区設定する。

第3節 換地計画樹立の基本方針

上段：変更後
下段：変更前

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
真 城 南	〃 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から1年以内に土地家屋調査士の測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出地積とする。

2. 用途別予定地積

上段：変更後
下段：変更前

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得 予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地（令第 1条の（ ）書き			計	本事業によって生ず る土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 理 化 施 設 地	生 活 上 経 営 に 必 要 な 施 設 地	公 用・ 公 共 用 施 設 地	宅 地 等	計								
真城南	従前の土地	〃 62.2	〃 0.5	〃 －	0.0 －	〃 2.6	〃 －	〃 2.6	〃 65.3	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 65.3	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 －	〃 －	〃 2.8	〃 2.8	〃 －	〃 68.1	
	換地	58.0 58.1	〃 0.1	〃 －	0.2 －	〃 －	〃 －	〃 －	58.3 58.2	3.5 3.6	〃 －	3.5 3.6	〃 －	〃 61.8	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 6.3	〃 6.3	〃 －	〃 68.1	
	従前の土地																		／	／	／	／	／								
	換地																														
	従前の土地																			／	／	／	／	／							
	換地																														
	従前の土地																			／	／	／	／	／							
	換地																														
	従前の土地																			／	／	／	／	／							
	換地																														
合計	従前の土地	〃 62.2	〃 0.5	〃 －	〃 －	〃 2.6	〃 －	〃 2.6	〃 65.3	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 65.3	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 ／	〃 －	〃 －	〃 －	〃 2.8	〃 2.8	〃 －	〃 68.1	
	換地	58.0 58.1	〃 0.1	〃 －	0.2 －	〃 －	〃 －	〃 －	58.3 58.2	3.5 3.6	〃 －	3.5 3.6	〃 －	〃 61.8	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 6.3	〃 6.3	〃 －	〃 68.1	

3. 農用地集団化の方針

上段：変更後

下段：変更前

(第25表-4)

区 分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
真城南	集落別集団化	予め特殊地の選定を行なった後、各戸の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として集積が図れるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔

4. 非農用地の換地方法

該当なし

(第25表-5)

区 分 地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積(m ²)	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他

上段：変更後

下段：変更前

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

//

項目別配点方式

//

従前の土地と換地をそれぞれ個別に、かつ、1筆毎に、各評価項目について採点し、項目別に得られた採点結果を積み上げてその土地の点数とし、点数に対応する等位をつける。

2. 清算の方法

//

比例地積清算方式

//

事業による利益（増加額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
// 真城南	// 平成30～令和4年度	// 令和6年度	// 令和6年度	// 確定測量 令和4年度

第6節 換地処分の時期に関する特則

//

換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法題54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

上段：変更後
下段：変更前

(第26表)

事業名		区画整理	備考
区分		(百万円)	
工事費		1,532 1,516	令和5年度単価 令和3年度単価
附帯工事			
計		1,532 1,516	
関連事業 (参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備考
区分				
区画整理	作物生産効果	28,678 29,488	△ 2,314 △ 2,373	
	営農経費節減効果	98,377 108,635	103,132 110,889	
	維持管理費節減効果	△ 1,531 △ 1,493	1,567 1,167	
	耕作放棄防止効果		// -	
	国産農産物安定供給効果	5,434 2,210	- -	
	計	130,958 138,840	102,385 109,683	令和5年度単価 令和3年度単価 総費用総便益比
				1.17 1.40

第12章 関 連 す る 事 業

上段：変更後
下段：変更前

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
〃 異種	〃 国営胆沢平野 農業水利事業	〃 国	〃 9,830	〃 用水路 12路線 30km 排水路 7路線 19km
	〃 県営農業用水再編対策 事業胆沢平野地区	〃 岩手県	〃 8,835	〃 用水路 36路線 112km 排水路 33路線 91km

第13章 現況・計画図面

上段：変更後
下段：変更前

1. 位置図

//
別途添付

2. 現況計画平面図

//
別途添付

3. 土地利用計画図

//
別途添付

4. 主要構造図

//
別途添付

農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)
真城南地区 計画一般図(変更後) S=1:50,000

奥州市役所

県内位置図



凡 例

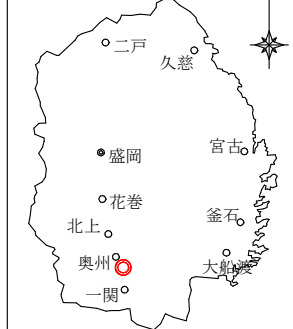
一定区域



農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)
真城南地区 計画一般図(変更前) S=1:50,000

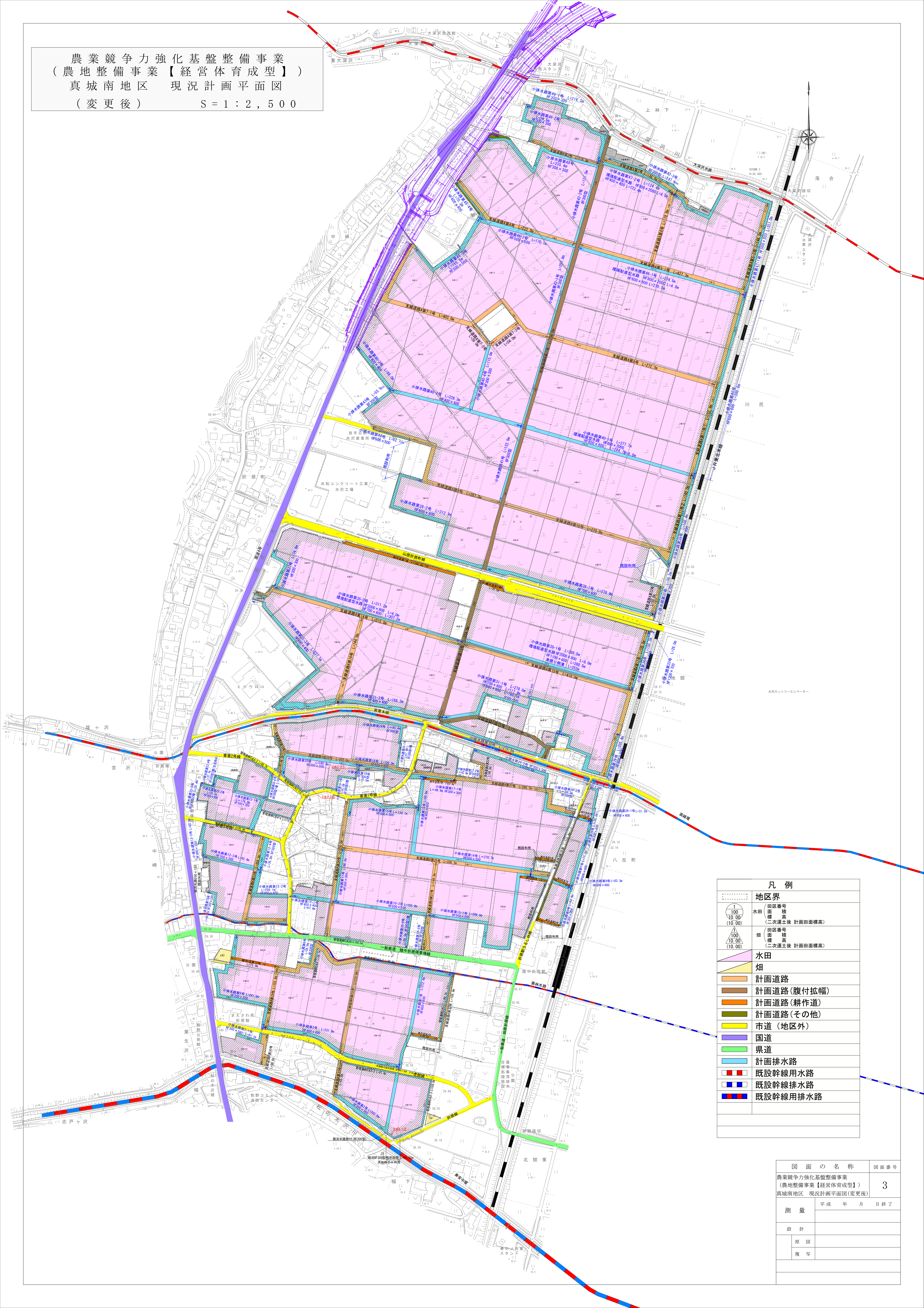
奥州市役所

県内位置図



凡 例	
一定区域	

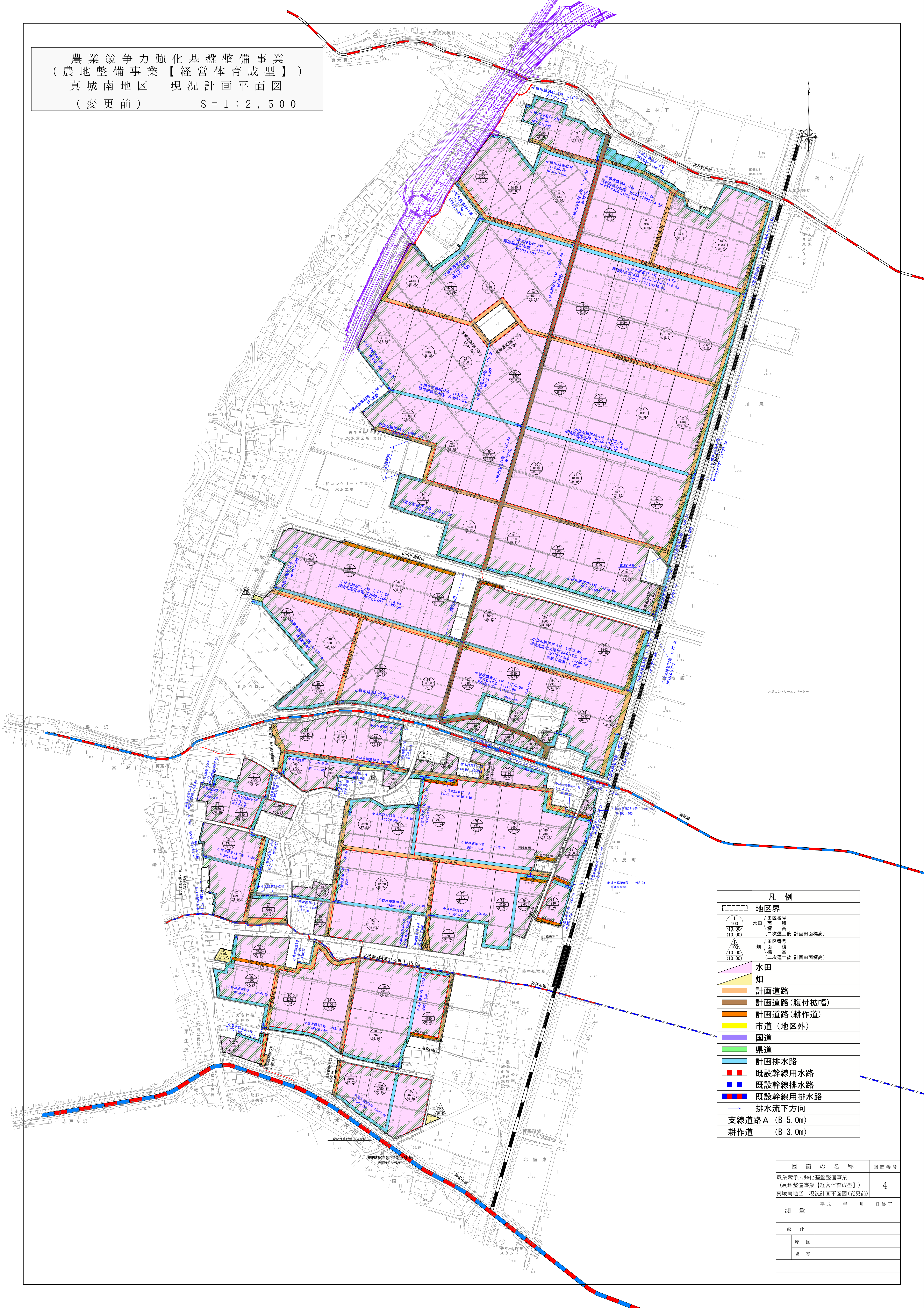
農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)
真城南地区 現況計画平面図
(変更後) S = 1 : 2 , 5 0 0



凡 例	
	地区界
	水田 田区番号 面積 標高 (二次運土後 計画田面標高)
	畑 田区番号 面積 標高 (二次運土後 計画田面標高)
	水田
	畑
	計画道路
	計画道路(腹付拡幅)
	計画道路(耕作道)
	計画道路(その他)
	市道 (地区外)
	国道
	県道
	計画排水路
	既設幹線用水路
	既設幹線排水路
	既設幹線用排水路

図 面 の 名 称		図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 真城南地区 現況計画平面図(変更後)		3
測 量	平成 年 月 日 終了	
設 計		
原 図		
複 写		

農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)
真城南地区 現況計画平面図
(変更前) S = 1 : 2 , 5 0 0



凡 例	
	地区界
	水田 田区番号 面積 100.00 標高 (10.00)
	畑 田区番号 面積 100.00 標高 (10.00)
	水田
	畑
	計画道路
	計画道路(腹付拡幅)
	計画道路(耕作道)
	市道 (地区外)
	国道
	県道
	計画排水路
	既設幹線用水路
	既設幹線排水路
	既設幹線用排水路
	排水流下方向
支線道路A (B=5.0m)	
耕作道 (B=3.0m)	

図 面 の 名 称		図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 真城南地区 現況計画平面図(変更前)		4
測 量	平成 年 月 日終了	
設 計		
原 図		
複 写		

農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)
真城南地区 農振土地利用計画図
(変更後) S = 1 : 5 , 0 0 0



図 面 の 名 称		図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 真城南地区 農振土地利用計画図		5
測 量	平成 年 月 日 終 了	
設 計		
製 原 図		
図 複 写		
平成28年2月29日作成		
奥州市農政課より(平成26年度)		

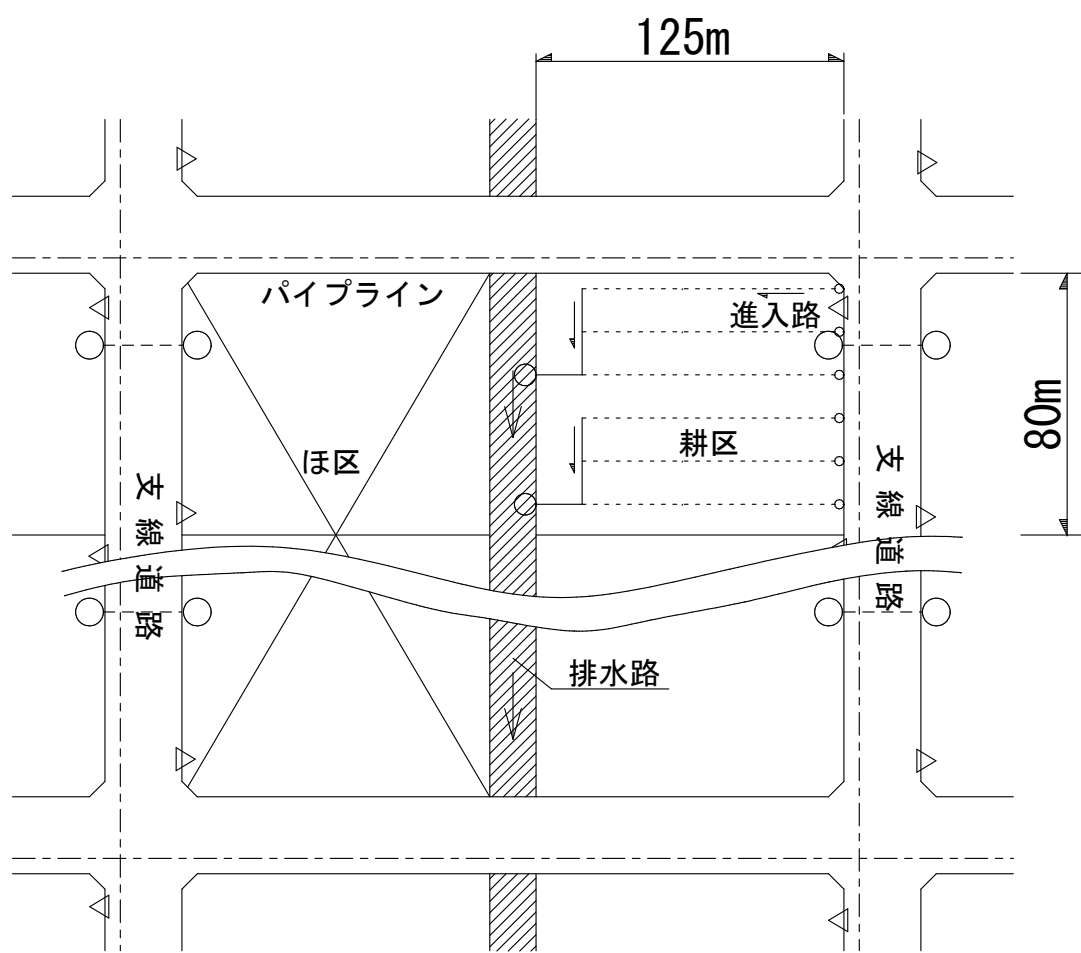
農業競争力強化基盤整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)
真城南地区 農振土地利用計画図
(変更前) S = 1 : 5 , 0 0 0



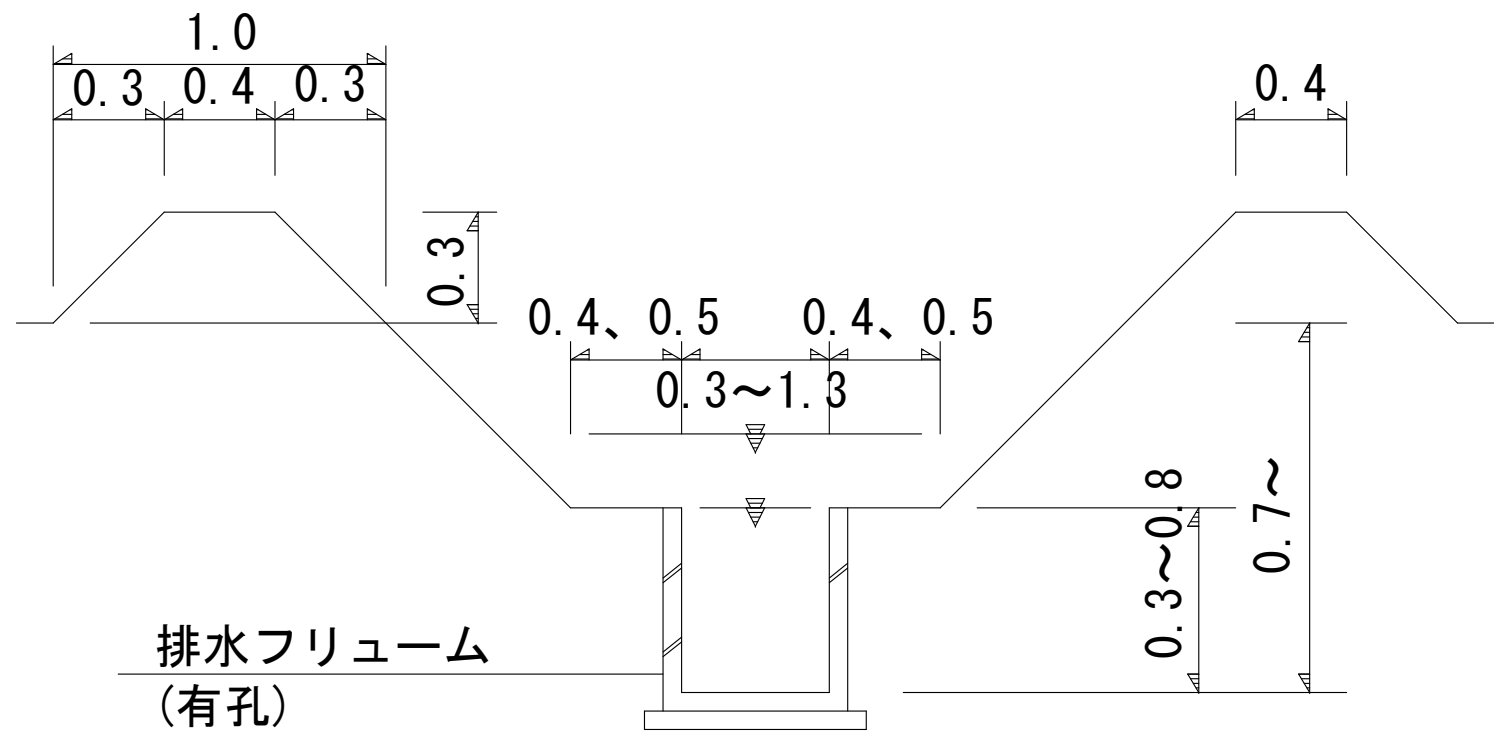
図 面 の 名 称			図面番号
農業競争力強化基盤整備事業 （農地整備事業【経営体育成型】） 真城南地区 農振土地利用計画図			6
測 量			平 成 年 月 日 終 了
設 計			
製 図	原 図		
図 複 写			
平成28年2月29日作成			
奥州市農政課より（平成26年度）			

真城南地区標準断面図

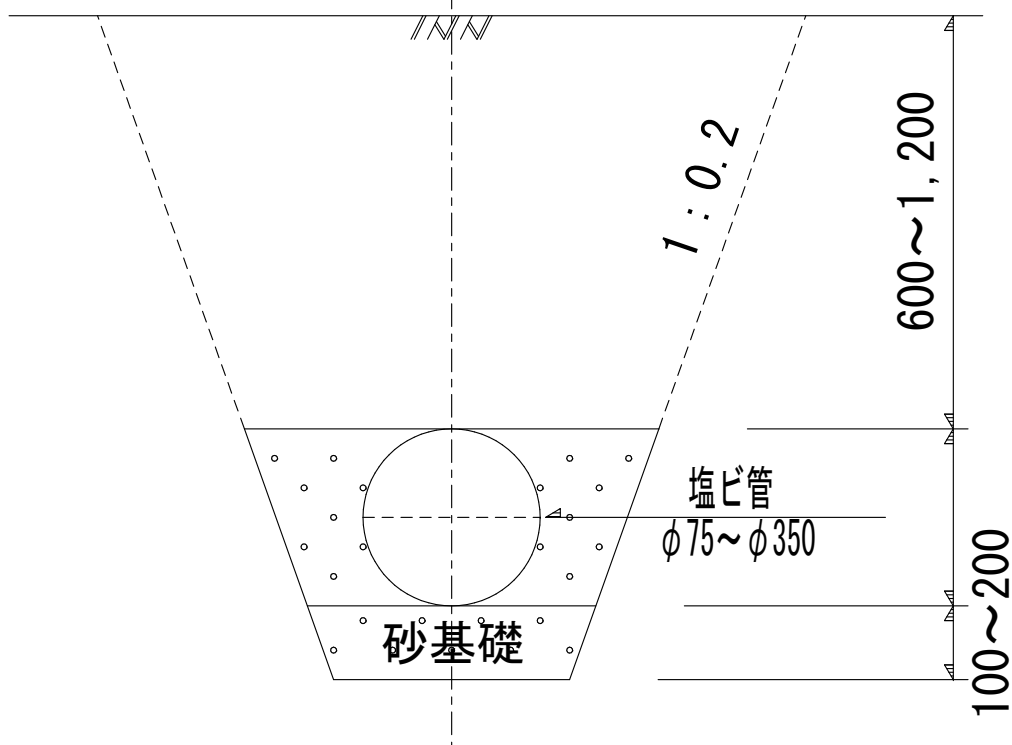
標準区画割図



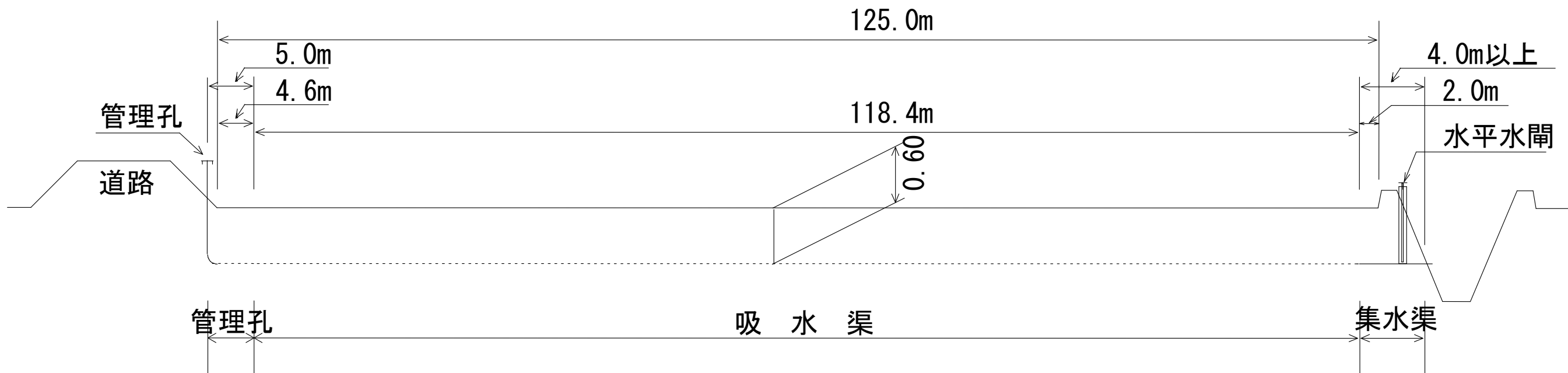
小排水路



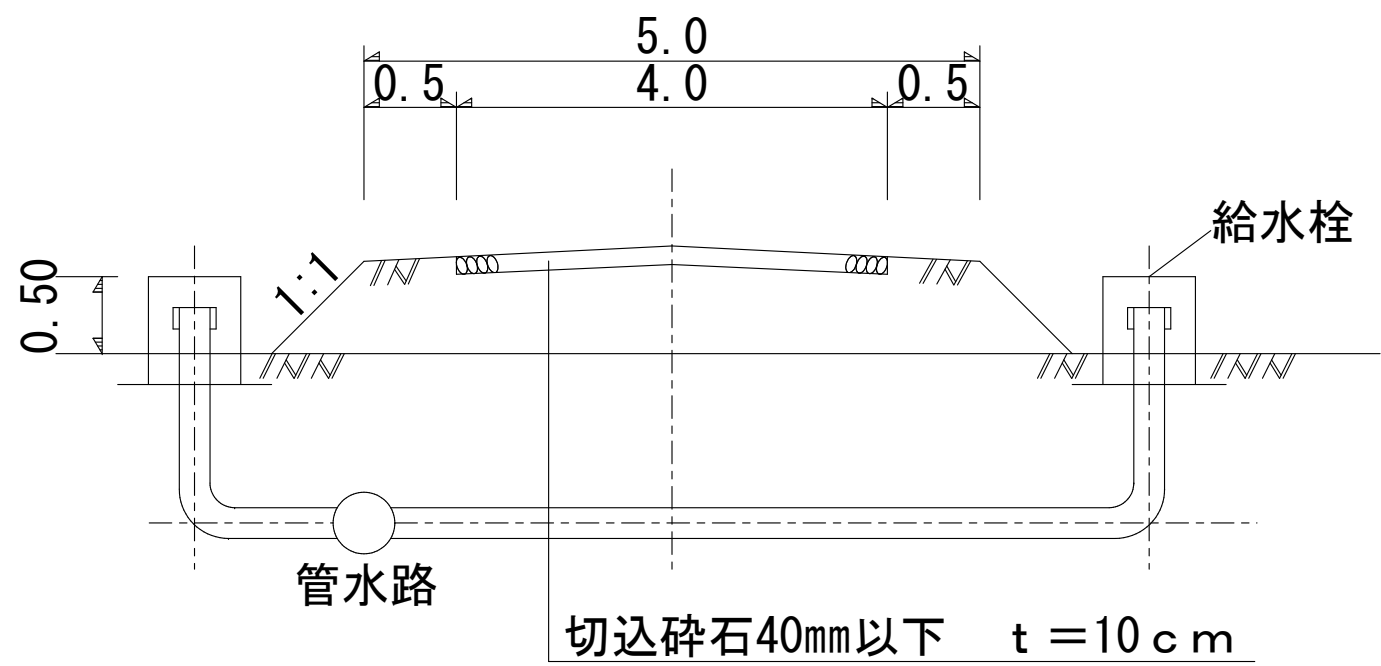
管水路



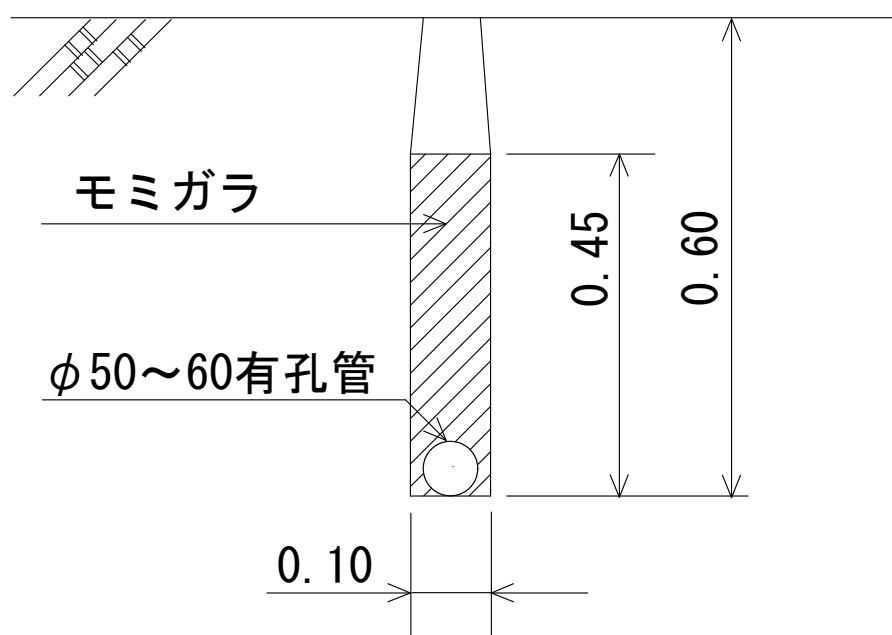
暗渠排水



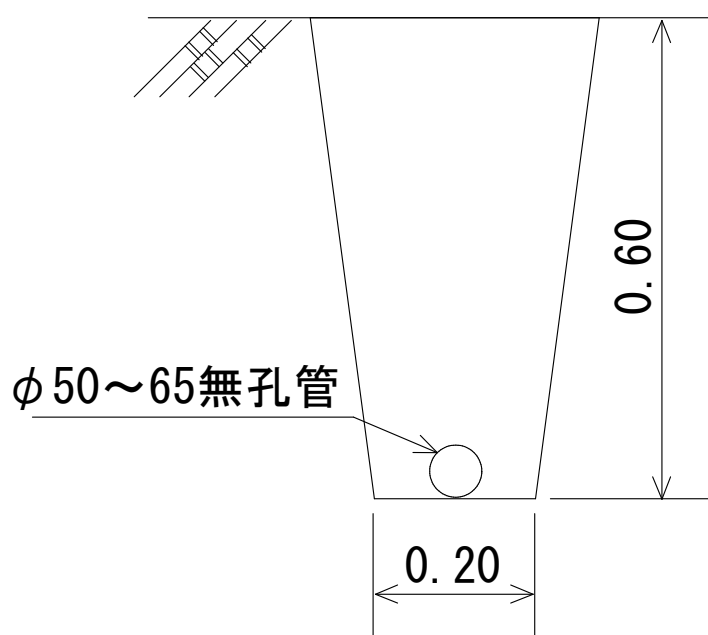
支線道路



ドレンレイヤー標準図



集水渠断面図



図面の名称		図面番号
真城南地区標準断面図		13
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	